

武雄市観光交流センター建設(第1期)工事

区分	N0	図面名称	縮尺	区分	N0	図面名称	縮尺
建 築	A-01	現場説明書	N.S	構 造	S-01	構造特記仕様書	N.S
	A-02	特記仕様書(1)	N.S		S-02	配筋標準図1	N.S
	A-03	特記仕様書(2)	N.S		S-03	配筋標準図2	N.S
	A-04	特記仕様書(3)	N.S		S-04	配筋標準図3	N.S
	A-05	特記仕様書(4)	N.S		S-05	鉄骨標準図1	N.S
	A-06	特記仕様書(5)	N.S		S-06	鉄骨標準図2	N.S
	A-07	特記仕様書(6)	N.S		S-07	基礎図・部材リスト表	1:100
	A-08	仕上表 求積図・表	1:100		S-08	小屋伏図・軸組図	1:100
	A-09	配置図 付近見取図	1:400		S-09	鉄骨架構詳細図1	1:100
	A-10	平面図	1:100		S-10	鉄骨架構詳細図2	1:100
	A-11	立面図	1:100	設 備	E-1	特記仕様書(電気設備)	N.S
	A-12	断面図	1:100		E-2	配置図	1:400
	A-13	矩計図1	1:50		E-3	盤図	N.S
	A-14	矩計図2	1:50		E-4	電力・通信引込設備図	1:50
	A-15	矩計図3	1:50		E-5	電灯設備図	1:50
	A-16	矩計図4	1:50		E-6	非常・誘導灯設備図	1:50
	A-17	矩計図5	1:50		E-7	コンセント設備図	1:50
	A-18	平面詳細図	1:50		E-8	自動火災報知設備図	1:50
	A-19	建具配置図・建具表	1:100 1:50		M-1	特記仕様書(機械設備)	N.S
	A-20	天井伏図・屋根伏図・部分詳細図	1:100 1:10他		M-2	換気設備図	1:100
	A-21	部分詳細図	1:20 1:10他		M-3	衛生設備図	1:100
			1:200他				

現場説明書（建築・設備工事編）

（A）工事概要及び一般事項

1. 工事概要

- ①工事名称 武雄市観光交流センター建設（第1期）工事
- ②施工場所 （別添 特記仕様書及び設計図面による）
- ③工期 契約日から令和 年 月 日まで
- ④工事内容 （別添 特記仕様書及び設計図面による）

5. 別途予定の関連工事

- ⑥質疑等の提出方法及び回答期日等 （入札説明書等で指示）

2. 設計図書の優先順位

設計図書は相互に補完するものとし、相互に相違がある場合の優先順位は次のとおりとする。

- ①現場説明書及び質疑回答書 ②特記仕様書
- ③設計図面 ④標準仕様書（国土交通省大臣官房官庁常総部監修）

3. 工事着手前・完成時の提出図書

- ①工事請負契約後、設計図書の縮小版（A2版又はA3版）青焼き製本を2部提出すること。又は監督員の指示による。

- ②その他、監督員の指示に従って住まい支援課課へ提出すること。

4. 契約事務上の注意事項

- ①工事請負契約書は武雄市建設工事請負契約款を使用することとし、その他の契約事務については武雄市財務規則による。

- ②工事が複数年度に亘る場合は、各年度の請負代金の支払い限度額及び施工責任額は、契約書作成の日までに通知する。

- ③不慮の事故に備えて火災保険等に加入すること、また、労働災害事故にも備え建設労働災害補償制度でもできる限り加入すること。なお、契約額は工事規模・請負契約額に相応する内容とし、原則として工事完成期日後14日間の予備期間を設けること。

- ④現場代理人・主任技術者届、施工計画書等の提出書類は、速やかに作成し監督員に提出すること。

- ⑤工事の一部を下請けに付する場合には、速やかに一部下請負申請書を提出し承諾を得ること。また、下請業者が県外業者となる場合は「県内優先不実施の理由書」「下請負辞退書」等を同時に提出すること。

（B） 現場及び技術に関する説明事項

1. 監督員事務所

- 監督員事務所を設ける場合は、事務所に机・椅子・保安用具等を必要に応じて備えること。

2. 指定仮設

- 設計図面に明記された仮設については、指定仮設として実施すること。なお、現場状況及び施工方法により変更が必要な場合は監督員との協議により実施すること。

3. 工事着工前の確認

- 建物の配置については設計図書に基づいて縦張りを行い、監督員と最終確認を行うこと。

- 既存施設内で増築・改修工事をする場合は、仮設計画書及び施工計画書等を作成し施工上必要な「工事用地等」について施設管理者と協議すること。また、既存の設備、地下埋設物については充分な予備調査を行って施工すること。

4. 工程管理

- 工事の着手に当たっては、他の関連事業者と調整の上、受電時期や試運転調整期間等を見込んだ実施工表を作成し監督員に提出すること。また、工事期間中はこの工程表に従い工事の円滑な進捗に努めること。

5. 施工体制台帳

- 請負者は、工事を施工するために締結した下請契約の請負代金額にかかわらず、別に定める国土交通省令に従って記載した施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、所定の様式（建築工事監理指針等を参照）により監督員に提出しなければならない。

- 請負者は、下請契約の請負代金額にかかわらず、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の定めに従って、各下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げなければならない。また、請負者は施工体系図を所定の様式（建築工事監理指針等を参照）により監督員に提出しなければならない。施工体制台帳及び施工体系図等の詳細は、土木工事施工管理の手引き（佐賀県 平成21年4月）を参照すること。

6. 施工中の安全確保及び環境保全等

- 施工中の安全確保並びに災害・公害の防止については「建築・電気・機械各標準仕様書」によるほか、次の指針・要綱によること。

- ・建築工事安全施工技術指針（平成22年5月31日改正、国営整第72号）

- ・建設工事公衆災害防止対策要綱（平成5年1月12日、建設省経建発第1号）

- ・建設副産物適正処理推進要綱（平成14年5月30日改正、国官総第122号、国総事第21号、国総建第137号）

- 事件・事故発生時には直ちに監督員に連絡すること。

7. 使用人等の管理

- 請負者は、使用人等（下請負者又はその代理人若しくはその使用人その他これに準ずる者を含む）の適正な労働条件を確保し、適時、使用人等への指導及び教育を行うとともに、工事が適正に遂行されるように管理及び監督すること。また、使用人等の管理に当たっては、作業員名簿を作成・保管することとし、監督員の請求があった場合は、提示すること。

8. 工事監理者

- この工事については、監督員業務の一部を第三者（設計者等）に委託する場合がある。

9. 特定元方事業者

- 労働安全衛生法第30条第2項に基づく特定元方事業者として、この敷地内の建設工事等における契約額が最大の建築工事の請負業者を指定する。

10. 工期変更等の場合の前払保証会社への通知

- 前払保証契約款第7条の2「工期を変更する場合等における措置」の保証会社への通知は、請負者で行うこと。

（C）指導事項

1. 建設工事の適正な施工の確保について

- 本工事の施工に当たっては、適正かつ円滑な施工を確保するために「建設業法」や「建設産業における生産システム合理化指針」等に基づく建設関連指導事項を遵守し、適正な契約の締結、適正な施工体制の確立、建設労働者の雇用条件等の改善に努め、建設関連法等に抵触する行為は行わないこと。

2. 労働福祉の改善等について

建設労働者の福祉の向上を図り、建設需要に対する労働者を確保し建設業の健全な発展を図るために、労働災害補償保険制度、建設業退職金共済制度及び労働災害補償共済制度に関する、土木工事等共通仕様書（佐賀県）第1章第4節の規定を遵守すること。

また、建設業退職金共済制度に係る共済証紙の購入については、共済制度の対象となる労働者（対象工事の請負業者の下請業者が当該労働者を使用する場合を含む）の当該工事に係る就労予定日数を把握し、必要枚数を購入後、「発注者用掛金収納書」を発注者へ提出すること。

3. 各種調査への協力依頼

公共事業労務費調査、共通仮設費の実績調査等の対象工事となった場合は、必要な協力をすること。

4. 下請負人等の選定

下請業者、資材調達及び工事に係る技術者等の選定については、武雄市建設工事請負契約款第8条によること。

また、工事に使用する資材については、地場産業の活性化を図るために市内で生産、生産又は製造されたものを積極的に使用するよう努めること。

5. 資材調達先及び技術者等の届け出

請負者は、武雄市建設工事請負契約款第8条第2項に規定する工事材料に係る納入業者を選定した場合は、工事資材使用届出書を監督員に提出し、その承諾を得ること。なお、納入業者が市外業者となる場合は、理由書を監督員に提出すること。

請負者は、武雄市建設工事請負契約款第8条第3項に規定する工事に係る技術者等の配置を決定した場合は、技術者等名簿届出書を監督員に提出すること。なお、配置する技術者等が市外居住者となる場合は、理由書を監督員に提出すること。

6. 工事用機材等の搬送に関する関連法の遵守等

道路交通安全法及び関係法令に抵触する搬送車両並びに交通安全の配慮に欠ける業者は排除すること。

また、「電波法 昭和25年 法律第131号」により、不法無線局を設置した車両を工事現場に入りさせないこと。

7. 工事実績情報の登録

請負金額が500万円以上の工事については、工事実績情報（CORINS）の登録をすること。

8. 産業廃棄物税の取扱いについて

本工事により発生する建設廃棄物のうち、九州各県の焼却施設及び最終処分場へ搬入するものについては、産業廃棄物税が課税されるため、適正に事務処理を行うこと。なお、熊本県及び北九州へ搬入するものについては、課税対象施設が異なるため、監督員と協議すること。

9. 建築物の解体等の作業における石綿対策について

・石綿含有建材等を使用した建築物、工作物などの解体等の作業については、石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令第21号、以下「石綿則」という。）に従い、適正に行うこと。また、解体される建材の種類、発じん性等により、具体的に必要な対策を講じること。

なお、以下の事項については、監督員と協議すること。

建築物の解体等に係る主な対策

・事前調査（石綿則第3条）、作業計画（石綿則第4条）、届出（石綿則第5条）、特別の教育（石綿則第27条）、作業主任者（石綿則第19条、第20条）、保護具等（石綿則第14条、第44条から第46条）、湿潤化（石綿則第13条）、隔離・立入禁止等（石綿則第6条、第7条、第15条）

・建築物等の解体等の作業を行うに当たっては石綿ばく露防止対策等の実施内容の揭示を行うこと。

なお、掲示方法については、監督員と協議すること。

・その他関係法令について

廃棄物処理法、大気汚染防止法、労働安全衛生法

10. 環境への負荷の少ない物品等の使用について

「佐賀県環境物品等の調達の推進に関する基本方針」による特定調達物品等を使用する場合は、その方針における当該物品に係る「判断の基準」を満たすものを使用すること。なお、その「判断の基準」に対応することができない場合は、監督員と協議すること。

11. 木質系材料に係る合法性及び持続可能性の証明

木質系材料を使用する場合は、その原料となる原木についての合法性及び持続可能な森林經營が営まれている森林からの産出に係る確認を行うこと。なお、その確認を行う場合には、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン（平成18年2月15日）」に準拠して行うこと。

12. 建設副産物の取扱い

建設副産物の取扱いについては、「建設副産物適正処理推進要綱」（国土交通省平成14年5月30日改正）によることを原則とするほか、建設副産物の取扱い方針（佐賀県平成21年4月）に従い、適切に処理すること。

（D）その他特記事項

- ・本工事は、土木部建築工事等検査・監督必携に定める中間検査の工程に達した時、適宜中間検査を実施する。実施時期については、別途監督員の指示による。

- ・本工事は、完成施設後調査実施要領に基づき、各施設管理者及び設計（監理）委託業者による完成施設後調査を実施する。

第一次調査：工事が完成し、施設管理者に引き渡した後、概ね6ヶ月の時期

第二次調査：かし担保期間（木造建築又は設備工事は1年、RC造等の建築物等又は土木工作物等は2年、構造等にかかわらず改修工事の場合は1年）が終了する前、概ね1ヶ月の時期

- 敷地内外における工事用及び作業員の車両の通行については、交通安全に十分配慮し、必要に応じて交通整理員を配置すること。

- 騒音や粉塵等が発生する工事については、事前に施設管理者と十分協議すること。

- 解体・撤去時の養生に十分注意すること。また、構築物や通路（道路）等を損傷・汚染させた場合は、施工者の責任において速やかに原形に復すること。

- 休日作業を行う場合は、事前に施設管理者と協議を行い、戸締まりや火気の始末等に十分注意すること。

- 現場溶接時の火災防止、鉄骨等運搬・組立時の事故防止に努めること。

- 既存部分の補修（改修）に当たっては、段差やはく離等が発生しないように十分に注意して施工すること。

- 足場や仮囲い等の仮設については、隨時点検するなど適正な維持管理を行うこと。

- 施設敷地内では禁煙となっていることを作業員等に周知すること。

- 地下埋設物・架空線等上空施設の近接作業を行ふ場合には、「地下埋設物・架空線等上空施設の事故防止マニュアル」（佐賀県平成26年1月）に従い、慎重に行うこと。

- ・本工事は、ワンデーレスponsとする。

「ワンデーレスpons」とは、現場での問題発生に対する迅速な対応の実施をいう。

ワンデーレスpons実施対象工事では、請負者からの工事打合せ簿による質問、協議に対し、監督員が基本的に「その日のうち（24時間以内）」に回答する。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを請負者と協議の上、回答期限を設けるなど何らかの回答を「その日のうち」に行うこととする。

- 1. 請負者は予定工程表の提出に当

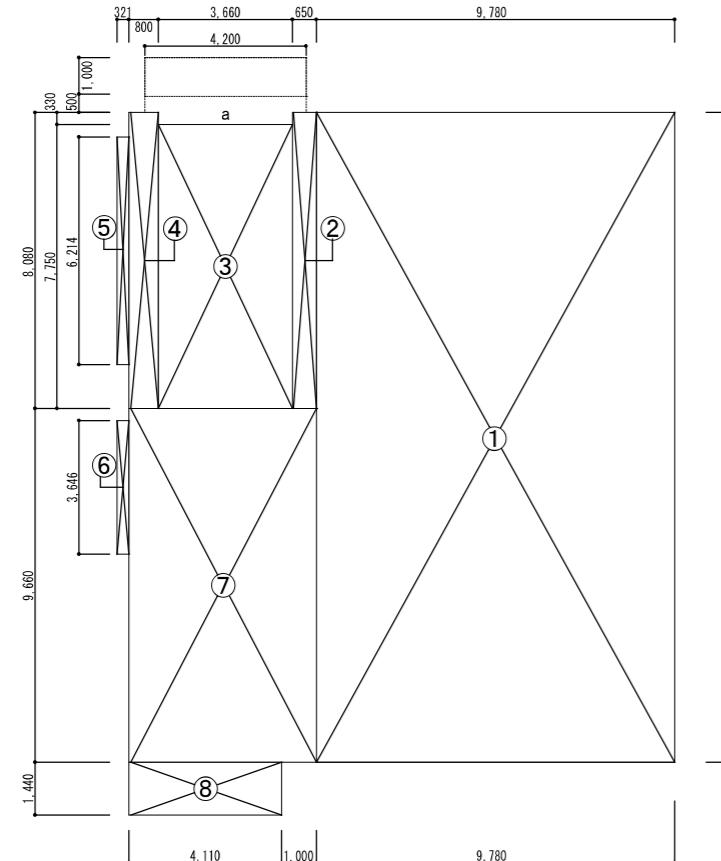
19 ⑫ 断熱材 ロックルーム、グラスクール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び 接着剤のカルムアーティド版数量 ※規制除外 ・断熱材打込み工法							--	--	-------------------------------	-----------	--		種類	厚さ (mm)	備考				・ビーズ法(リボン法)保湿材	・					※押出成形(スチロール保湿材(泡なし))	※保湿板 (2種)	※25 •				・保湿板 (3種)	• 25 •					・	•					・A種保湿カントリ保湿材	•					・J-1/2保湿材(2種2号を除く)	•					施工箇所	()					・床板 (・最段スラブ下 (・接地区(7-0)-2) (・梁示))						・壁 (・室内内側部分(7-0)-2) (・仕上、下記を除く 倉庫、便所、設備室、湯沸室、車庫、書庫 ())						・						・断熱材現場発泡工法						断熱材の種類	※保湿材	• B種				厚さ (mm)	※25 • 30					施工箇所	()					※遮断材等の断熱材補修部分、ルーフドレン渠の床底下等、部分的に 後張りとしなければならない箇所						※鉄式音量二重床用床下材(樹脂製支柱式)						BL規定又は建築物の音量性能基準と設計指針(第2版)(日本建築学会)で規定する 「床衝撃音レベルに関する適用規範」2級程度を有するものとし、製造所の仕様による						施工箇所	壁仕上げ天端高さ 適応性能(スラブ厚150mm)					・屋上地	• 150 • 180	軽量床衝擊音				・フローリング 階下地	• ()	※LL-50 • ()				※UL-55 • ()						14. 化粧漆ビシート	下記に示す製造所の商品程度とする ()					15. システム天井	種別 Tバーの材質 備考					・ラインタイプ	・シングル ・ダブル	・アルミニウム製 ・鋼製				・口型タイプ						下記に示す製造所の商品程度とする ()						16. 油漆天井	材質 厚 備考					※ 漆質遮光漆	※ 300	断熱材を表打ちしたもの ・アルミニウム製(非不燃品)				・	• 100					・ ()	• ()	・				6. 隅脚溝止め						1. フリー・アクセスフロア						施工箇所	寸法 (mm) 高さ (mm) 所定荷重 (N) 表面仕上げ材 備考					※450角以上	※100	※3000	・電気防止床材			600角以下	• 120	• 5000	※(カバーハット)			※450角以上	※100	※3000	・電気防止床材			600角以下	• 120	• 5000	※(カバーハット)			※450角以上	※100	※3000	・電気防止床材			600角以下	• 120	• 5000	※(カバーハット)			適用地盤時水平力	1段及び2段 中間層 (~ 層) ※ 0.60以上 最上層 (層) ※ 1.00以上					耐震防歟床材	・直設タイプ (バネ一体タイプ以外の仕上げ材は別途内装工事とする)					寸法精度	※標準仕様書2.2(b) (5) (i) (iii)による 厚さ ±0.5mm 平坦度 バネ高さ過渡 1.0mm以下 同心と頂点を結ぶ線の長さ 2.0mm以下					表面における品質、性能は、標準仕様書1章による。						底材の材質	※凡不合金(付1)製、付1基又は複合材等					構成材の材質	・アルミニウム製・鋼製(仕上げ:)					スロープ及びポーラー	※表面の仕様による ()					脱線用取り外しバネ	フリーアクセスフロア全体重量に対する設置割合 50%以上・20~30%・配線取り外し開口・バネ一枚につき、40mm×80mm 程度の開口1箇所以上					取扱方法	・ローリングドード性能 (適用する 通用室 ()) ※通用しない					ローリングドード性能	・適用する 通用室 ()					ローリングドード性能	・適用する 通用室 ()					開口の大きさ	・コンセント(電源) : 2P15A接地極付x 2 情報用モジュラージャック (電話) : 8端子x 1 の入ったアダプタが納まる大きさ					取付方法	フリーアクセスフロア製造所の仕様とする					2. 直床用複合アクリレット用開口	通路 ()					開口の大きさ	・フロア面積60m ² につき1ヶ所かつ予備開口を14m ² につき1ヶ所					コンセント(電源) : 2P15A接地極付x 2 情報用モジュラージャック (電話) : 8端子x 1 の入ったアダプタが納まる大きさ						取付方法	フリーアクセスフロア製造所の仕様とする					**20** 2. 可動間仕切 (続)	構造形式	操作方法	構成材の種類	寸法 (mm)	表面仕上げ材		耐火性	備考		-----------------------------------	----------------	--------	---------	--------	------------	----------------------	-----						材質	厚さ (mm)				・スタッド式(内壁)	・電動	・スタッド	・バネ	・鋼板	※0.5 以上	※(カバーハット付又は 壁紙張り)	・不燃		・スタッズ式(露出)	・手引き								・バネ式	・引分け								・スラッド式(内壁)	・電動								・	・手引き								中心周波数500Hzの音についての透過損失 (dB)	・36未満 ・36以上								ハネ内に取付する器具・アリ(※図示 ())なし									表面仕上げを壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による									ガラス質材	※ガスケット	・シリング						3. 移動間仕切	構造形式	操作方法	構成材の種類	寸法 (mm)	表面仕上げ材		耐火性	備考		-----------------------------------	--------	---------	---------	--------	-----------	-------	----						材質	厚さ (mm)				・平行方向 移動式	・手動式	・フッショニ式	※60程度	・鋼板	※(カバーハット)	・不燃			・二方向 移動式	・電動式	・ハンドル式	• 100程度	・	・壁紙張り	・36以上			・部分移動式									ハネ内に取付する器具・アリ(※図示 ())なし									表面仕上げを壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による									ガラス質材	※ガスケット	・シリング						4. トレイベース	構造形式	操作方法	構成材の種類	寸法 (mm)	表面仕上げ材		耐火性	備考		-----------------------------------	--------	---------	---------	--------	-----------	-------	----						材質	厚さ (mm)				・平行方向 移動式	・手動式	・フッショニ式	※60程度	・鋼板	※(カバーハット)	・不燃			・二方向 移動式	・電動式	・ハンドル式	• 100程度	・	・壁紙張り	・36以上			・部分移動式									ハネ内に取付する器具・アリ(※図示 ())なし									表面仕上げを壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による									ガラス質材	※ガスケット	・シリング						5. 横質導管用床材	横質の種類	色柄	部材	ドアエッジ、形状	表面仕上げ材		材質	備考		---------------	----------------	--------	----------	----------	----------	----	----						形状	形状				※ メラミン樹脂系化粧板	※無地	※縦木タイプ	・標準	・アルミニウム製	・スチレンレス製	・R			・ポリエチレン樹脂系化粧板	・	・植物	・	・	・	・			吊り方	※中央吊、戸らたり吊 ()							6. コーナーピード	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ材		材質	備考		------	---------------------	---------	---------	--------	------	----	----						材質	色柄				屋内	・塗装ビニル製	※300	• 300	・	・7.0	・				・被覆質タイル	※300	• 300	・	・	・				・レジンコンクリート製・コンクリート基	※300	• 300	・	・	・			屋外	・	・	・	・	・	・			固定	・被器質タイル・セッタ被器質タイル	※300	• 300	・	・	・				・レジンコンクリート製・コンクリート基	※300	• 300	・	・	・		7. 天井裏切替	施工箇所	種類	寸法 (mm)		厚さ (mm)	表面仕上げ材		材質	備考		------	---------------------	---------	-------	---------	--------	----	----	----				材質	色柄		形状	形状				屋内	・塗装ビニル製	• 300	• 300	•	・	・	・				・被器質タイル	• 300	• 300	・	・	・	・				・レジンコンクリート製・コンクリート基	• 300	• 300	・	・	・	・			屋外	・	・	・	・	・	・	・			固定	・被器質タイル・セッタ被器質タイル	• 300	• 300	・	・	・	・				・レジンコンクリート製・コンクリート基	• 300	• 300	・	・	・	・		8. 手すり	形状	種	材質	仕上	表面仕上げ材		材質	備考		-------------	------	-----	-------------	--------	---	----	----						形状	種				・1段	• 35	※45	・	・	・	・			・2段	※35	・	・	・	・	・			・既製手すり(樹脂製)									・									・O型 (1段)	※40	・	アルミ合金属 (心丸)	・	・	・			・O型 (2段)	※34	・	・	・	・	・		9. 黒板及びホワイトボード	種類	寸法 (mm)	表面仕上げ材		材質	備考		----	---------	--------	---	----	----				材質	色				・	・	・	・	・			・	・	・	・	・			・	・	・	・	・			・	・	・	・	・		10. 壁	施工箇所	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ材		材質	備考		------	---------	---------	--------	---	----	----					材質	色				・	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・		11. 植穴ライニング	施工箇所	寸法 (mm)	表面仕上げ材		材質	備考		------	---------	--------	---	----	----				材質	色				・	・	・	・	・			・	・	・	・	・			・	・	・	・	・			・	・	・	・	・		12. ブラインド	形式	操作方法	種類	寸引の材質	寸引の幅 (mm)	寸引の長さ (mm)	寸引の材質	寸引の幅 (mm)	寸引の長さ (mm)	表面仕上げ材		材質	備考		-----	------	-----------	----------	-----------	------------	-------	-----------	------------	--------	----	----	----											寸引	寸引				・横型	・手動	・ギヤ式	※アルミニウム	※25	※鋼製	・	・	・	・	・	・			・	・	・コード式	・合金製	・	・	・	・	・	・	・	・			・	・	・操作棒式	・	・	・	・	・	・	・	・	・			・縦型	・手動	※2本操作コード式	・アルミスラット	• 80	アルミニウム合金製	・	・	・	・	・	・			・	・	・1本操作コード式	・クロススラット	• 100	・	・	・	・	・	・	・			・	・	・電動	・	・	・	・	・	・	・	・	・		13. ロールスクリーン	材種	操作方法	遮光性	寸法 (mm)	表面仕上げ材		耐火性	備考		----	------	-----	---------	--------	---------	-----	----						材質	厚さ (mm)			

別表-1 設備工事との工事区分表										
工事内容								本工事	電気設備工事	機械設備工事
機 器 の 基 础								屋内	○	
								配電盤・制御盤の基礎		
								屋外	○	
								屋上		
								テレビアンテナ基礎 (〃)		
								避雷針の基礎 (〃)		
								屋上設備 (梁台、アンカーボルトを除く)		
								屋外設備 (〃)		○
								特記した基礎		○
								梁、床、壁 貫通スリーブ	補強を要するもの 補強を要しないもの	○ ○
開 口 部								梁、床、壁 貫通部材	補強を要するもの 補強を要しないもの	○ ○
								経量鉄骨下地 壁・大井手・J型 類の切込	補強を要するもの (アウトレットボックスは除く)	○
								埋込部分電盤、 端子盤等の型枠	補強を要するもの	○
								上記開口部の補強		○
								上記開口部の蓋出し		○ ○
								スリープの穴埋め (型枠の穴埋めを含む)		○ ○
								OA フロアー配線器具用		
								点検口	床、壁、天井	○
								外部取付ガラリ	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む	○
								湯沸室のフード		○
電 気 配 線								換気扇の取付栓		○
								流し台	排水トラップ共	○
								防油堀	オイルサービスタンクの防油堀	
								自家発用		
								空調用		○
								床下水槽のマンホール蓋		
								雨水立管 (たてどい)		○
								身障者用便所手摺り		○
								ガスボンベ転倒防止用の鎖		
								自動ドア及び電動シャッタなどの制御部と操作スイッチ間の配線配線及び操作スイッチ		○
ガス 湿 れ 検 知 器								防火扉レリーズ		
								電極棒		○
								配線ビット及びふた		○
								別途機器などへの接続		○
								ガス漏れ検知器		○
記 事										

外部仕上表			
屋根	耐火野地板 t 25 ゴムアス防水シート t 1.0 アルミ亜鉛合金メッキ鋼板 t 0.5 (耐磨カラー) (嵌合式瓦棒) (FP030RF-1772) (一部) 同上 ゴムアス防水シート t 1.0 アルミ亜鉛合金メッキ鋼板 t 0.5 (耐磨カラー) (平葺き) (FP030RF-1772) (一部) トップライト(網入りガラス t 6.8)	庇	S造 幕板: アルミPL t 2 (フッ素焼付塗装) (裏面グライド吹付け t 3) 木毛セメント板 t 25 モルタルコテ押え ウレタンゴム塗膜防水層 (表面シルバー仕上) 軒天: アルミ (カラー) スパンドレール
笠木	ステンレス (SUS304) t 1.0 + アルミ製笠木	換気口 (小屋裏)	塩ビ製角型 (塩ビパイプ 50A付)
ケラバ・鼻先	鼻隠しパネル: アルミ亜鉛合金メッキ耐磨カラー鋼板 t 0.5 軒先唐草・化粧カバー: アルミ亜鉛合金メッキ耐磨カラー鋼板 t 0.5 ケラバ幕板パネル: アルミ亜鉛合金メッキ耐磨カラー鋼板 t 0.5	種類	(北側) 軒樋: 塩ビ (カラー) 角ドイ (*150、120) 受金物: ステンレス (SUS304) 壁樋: ステンレス (SUS304) 75A 受金物: ステンレス (SUS304) (南側) 壁樋: ステンレス (SUS304) 60A 受金物: ステンレス (SUS304)
外壁	(表面) ECP t 60 (タテ張り) (FP060NE-9035) 外水切り: ステンレス (SUS304) t 1.0 (出隅役物共) DP (パラベット部裏面) 耐火野地板 t 18 ゴムアス防水シート t 1.0 アルミ亜鉛合金メッキ鋼板 t 0.4 (耐磨カラー) (FP030RF-1764) (腰部) コンクリート打放 EXP、Jカバー (外壁用: アルミ製、耐火仕様)	シーリング	MS-2 (変形シリコーン系) PS-2 (ポリサルファイド系)
柱型 (既存屋根上部)	コンクリート打放	その他	点検用タラップ (安全ガード付き、SUS304) 雨水樹: 既製コンクリート造 400 (外構工事図参照) 雨水排水溝: U-240 (外構工事図参照) 雨水管: 塩ビ (VP) 100A、150A、200A (同上)
根廻り	コンクリート打放		
床	(屋外通路) コンクリート下地 磁器質床用タイル 600×600×9		
開口部	アルミ製サッシ (一部 防火設備) スチール製ドア (防火設備)		

(注. 1) シックハウス対策の規制対象の合板・フローリング・壁紙・塗料・接着剤等の内装仕上げ材は全て、JIS、JAS規格のF☆☆☆☆表示付、若しくは規制対象外の建築材料を使用する。
(注. 2) シックハウス対策の規制対象の天井裏、小屋裏、床裏等の下地材・断熱材・その他の面材は全て、JIS、JAS規格のF☆☆☆以上の表示付、若しくは規制対象外の建築材料を使用する。

階	室名	床		巾木・腰		壁		天井		回り縁	ブラインド・カーテン類	室名	備考
		下地		高さ	下地	下地	天井高						
1	増設通路	C	磁器質床タイル 600×600×9	SUS PL-1.5	200	LGS	GB t 9.5 + スレートボード (フレキシブル板) t 5 複層塗材RE (ゆず肌、ローラー塗り)	LGS	アルミスパンドレル t 1 (落下防止ワイヤー付き)	4,000 3,600	アルミ (目透し)	—	EXP、Jカバー (壁・天井用: アルミ製) 視覚障害者誘導用ブロック 衝突防止柵 (SUS304 HL、合わせガラス (FL5+フィルム (1+FL5))) 天井点検口 (アルミ製枠)
	展示・案内所	C	合板 (1類) t 15 (フリーアクセスフロア h=300)	—	—	LGS	GB t 12.5 RC柱 (既存): LGS 下地 GB t 12.5	LGS	トップライト部材露出 屋根下地材 (耐火野地板) 露出し EP 鉄骨部材露出 SOP (一部 耐火塗料) 塗装 GB t 9.5	3,540 ~4,210 3,600 3,000	塩ビ	—	EXP、Jカバー (床用: ステンレス製、壁・天井用: アルミ製) 出隅コナーガード (SUS304) 消火器ボックス (全埋込型、扉 (SUS304 HL) 693×290×160) 床下点検口 (アルミ製枠 450×450) 床下集水釜場 (モルタルコテ 300×300×180) 天井点検口 (アルミ製枠)
材料等略号		ECP - 押出成形セメント板	GB - せっこうボード	SOP - 合成樹脂調合ペイント塗り	DP - 耐候性塗料塗り	内装制限防火認定番号		内装制限防火認定番号		内装制限防火認定番号			
C - 鉄筋コンクリート	M - モルタル	RB - ロックウール吸音板	EP - 合成樹脂エマルションペイント塗り	VE - 塩化ビニル樹脂エナメル塗り	GB (せっこうボード) t 12.5	— NM-8619	スレートボード (フレキブル板)	— NM-8576	GB (せっこうボード) t 9.5	— NM-8576	ケイカル板	— NM-8576	
CB - 空洞コンクリートブロック	W - 木造	ケイカル板 - 無石綿セメント珪酸カルシウム板	EP-G - つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り	UC - ウレタン樹脂ワニス塗り	GB (せっこうボード) t 9.5	— QM-9828	化粧ケイカル板	— NM-4227	化粧GB (せっこうボード) t 9.5	— NM-4227	化粧GB (せっこうボード) t 9.5	— NM-1864	
S - 鉄骨	PF板 - ポリスチレンフォーム保溫板	GW - ガラスウール保溫材	AE - アクリル樹脂エナメル塗り	CL - クリアラッカーアクリル樹脂エナメル塗り	WP - 木材保護塗料塗り	— NM-1864	ビニルクロス (防火1級)	— NM9919	RB (ロックウール吸音板)	— NM-8599	ビニルクロス (防火2級)	— QM9232	
LGS - 軽量鉄骨			FE - フタル酸樹脂エナメル塗り			—告示1401号	耐火野地板 (硬質木片セメント板)						



求積図 1:100

求積表 (增加部分)

武雄市施設 床面積		
①	9.78	× 17.74 = 173.497
②	0.65	× 8.08 = 5.252
計 (1)		178.749 m ²

増設通路 床面積

増設通路 床面積		
③	3.66	× 7.75 = 28.365
④	0.80	× 8.08 = 6.464
⑤	0.321	× 6.214 = 1.994
計 (2)		36.823 m ²

全床面積 (1)+(2)

215.572 m²

屋外通路 床面積

屋外通路 床面積		
⑥	0.321	× 3.646 = 1.170
⑦	5.110	× 9.660 = 49.362
⑧	4.160	× 1.440 = 5.918
計 (3)		55.990 m ²

屋外通路含む全床面積

(1)+(2)+(3) 271.562 m²

屋外通路含む建築面積

a	4.20*0.50 + 3.66*0.33 =	3,307
全床面積 (1)+(2)+(3)		271.562
計		274.869 m ²

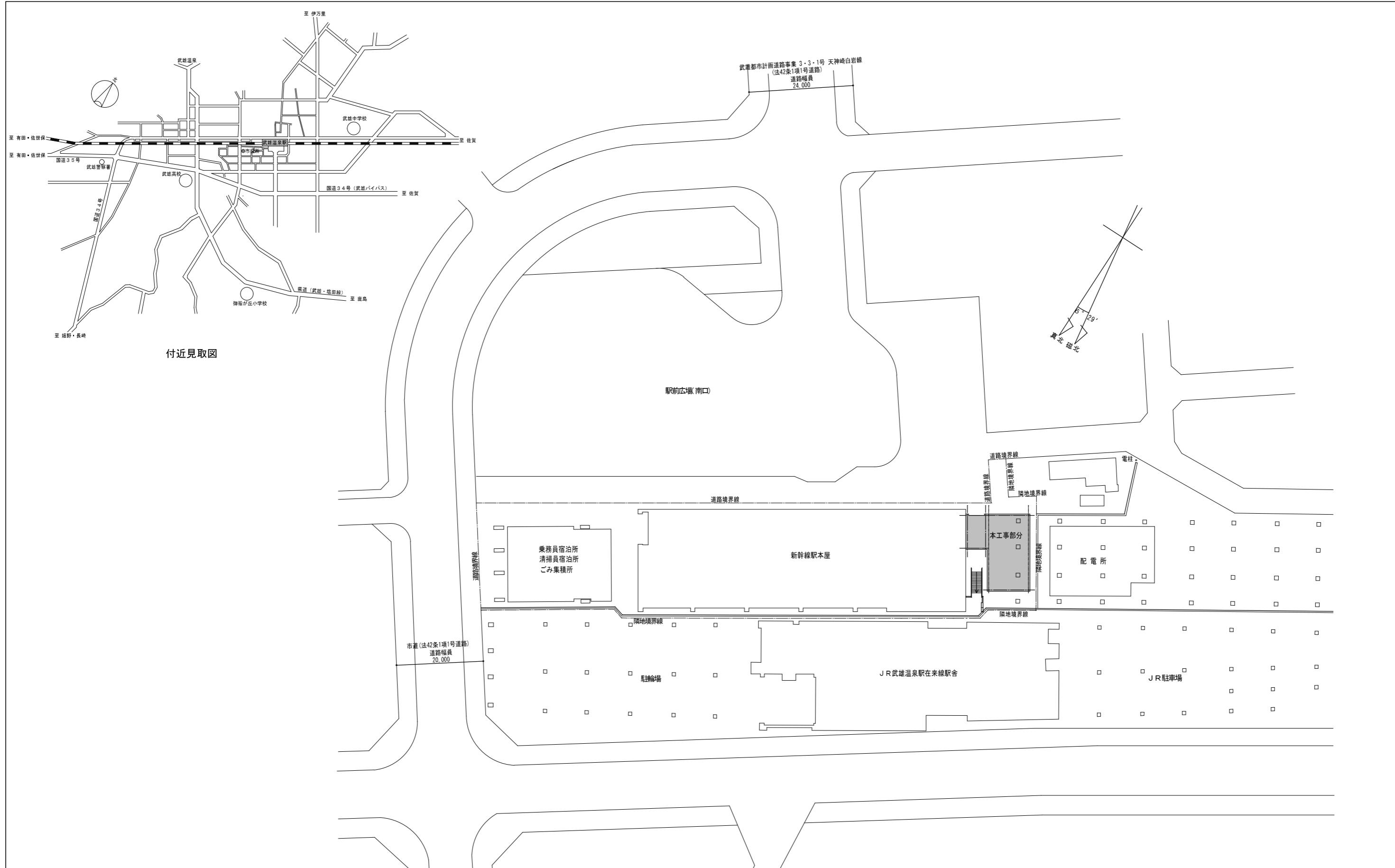
面積表 (床面積・屋外通路含まず)

	駅本屋			寄宿舎	合計
	増築部	駅舎	合計		
2階	— m ²	115.90 m ²	115.90 m ²	77.16 m ²	193.06 m ²
1階	215.57 m ²	1,143.57 m ²	1,359.14 m ²	398.81 m ²	1,757.95 m ²
計	215.57 m ²	1,259.47 m ²	1,475.04 m ²	475.97 m ²	1,951.01 m ²

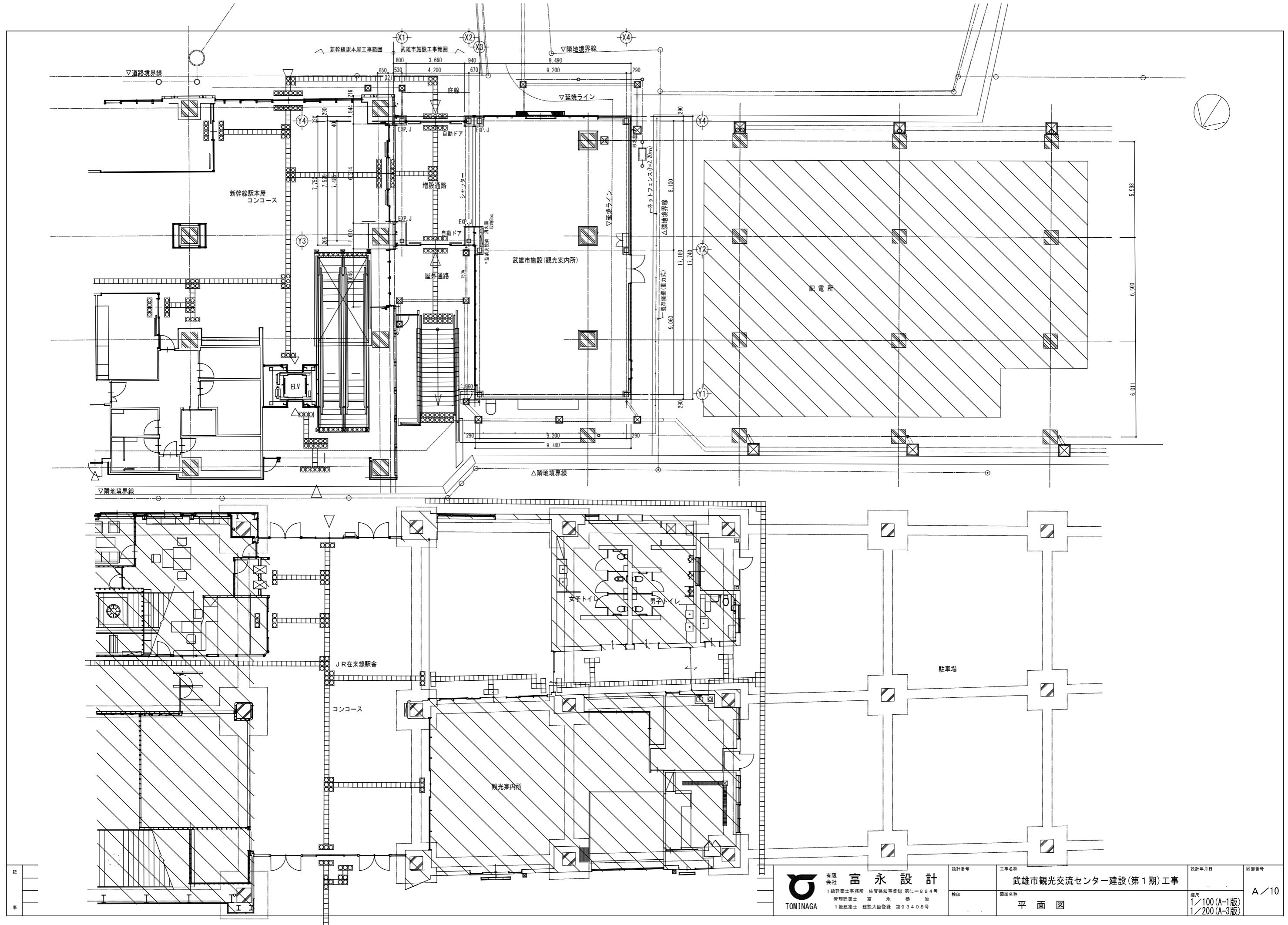
面積表 (床面積・屋外通路含む)

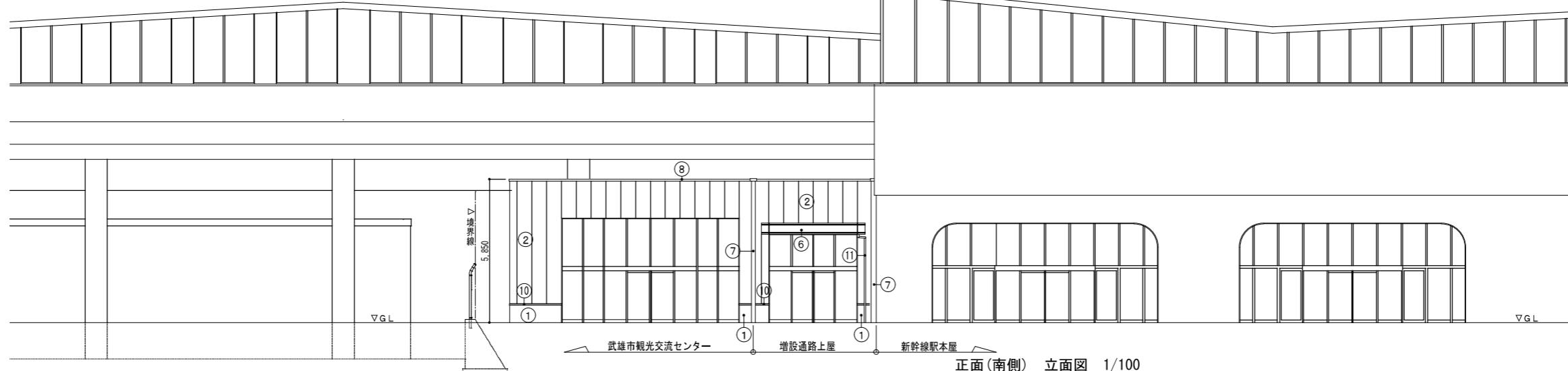
	駅本屋			寄宿舎	合計
	増築部	駅舎	合計		
2階	— m ²	115.90 m ²	115.90 m ²	77.16 m ²	193.06 m ²
1階	271.56 m ²	1,143.57 m ²	1,415.13 m ²	398.81 m ²	1,813.94 m ²
計	271.56 m ²	1,259.47 m ²	1,531.03 m ²	475.97 m ²	2,007.00 m ²

面積表 (建築面積)

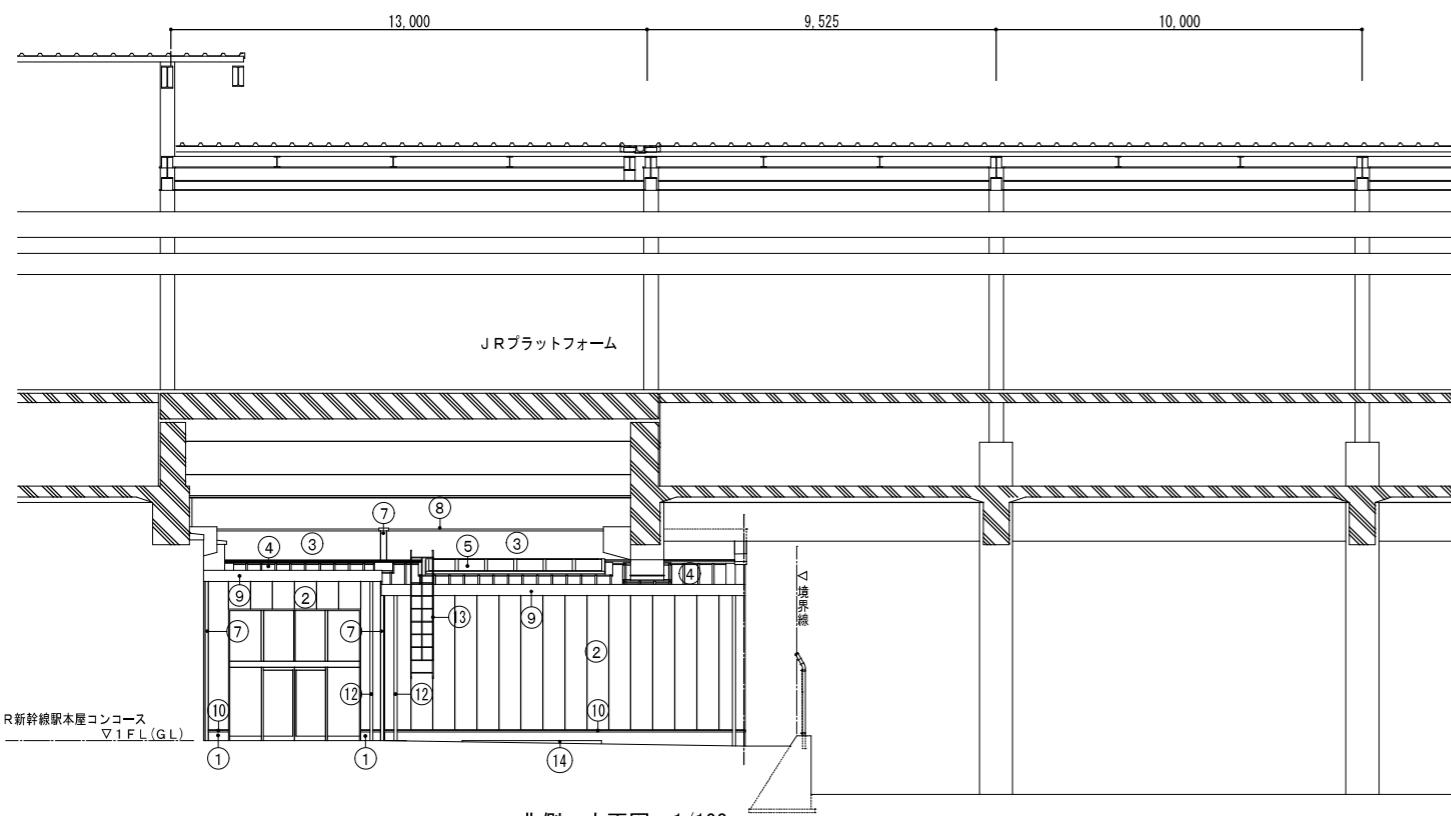


記 事	有限 会社 富永設 計 TOMINAGA	設計番 号 接印	工事名 称 武雄市觀光交流センター建設(第1期)工事 圖面名 配置図	設計年月日 A/09	図面番 号 縮尺 1/400(A-1版) 1/800(A-3版)
	1級建築士事務所 佐賀県知事登録 第一-B84号 管理建築士 富永恭治 1級建築士 建設大臣登録 第93408号				

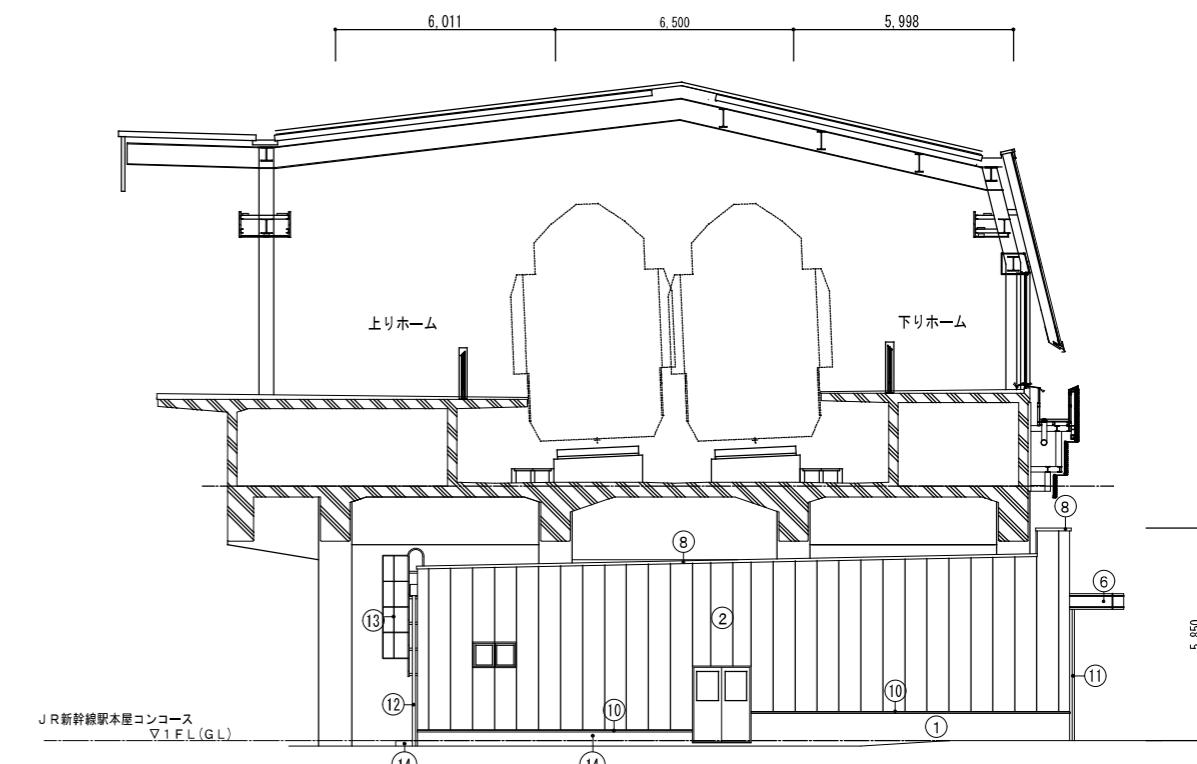




正面(南側) 立面図 1/100

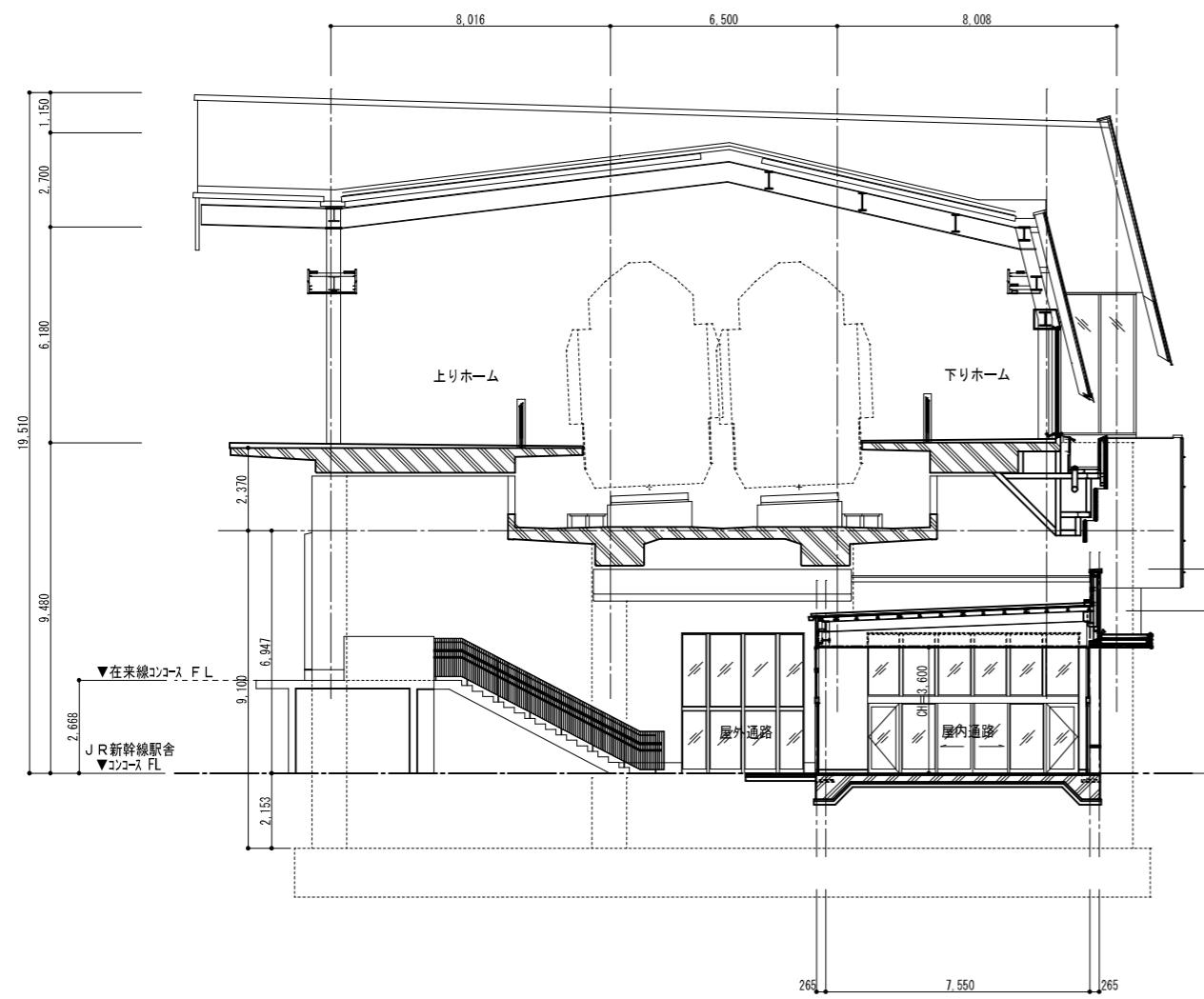


北側 立面図 1/100

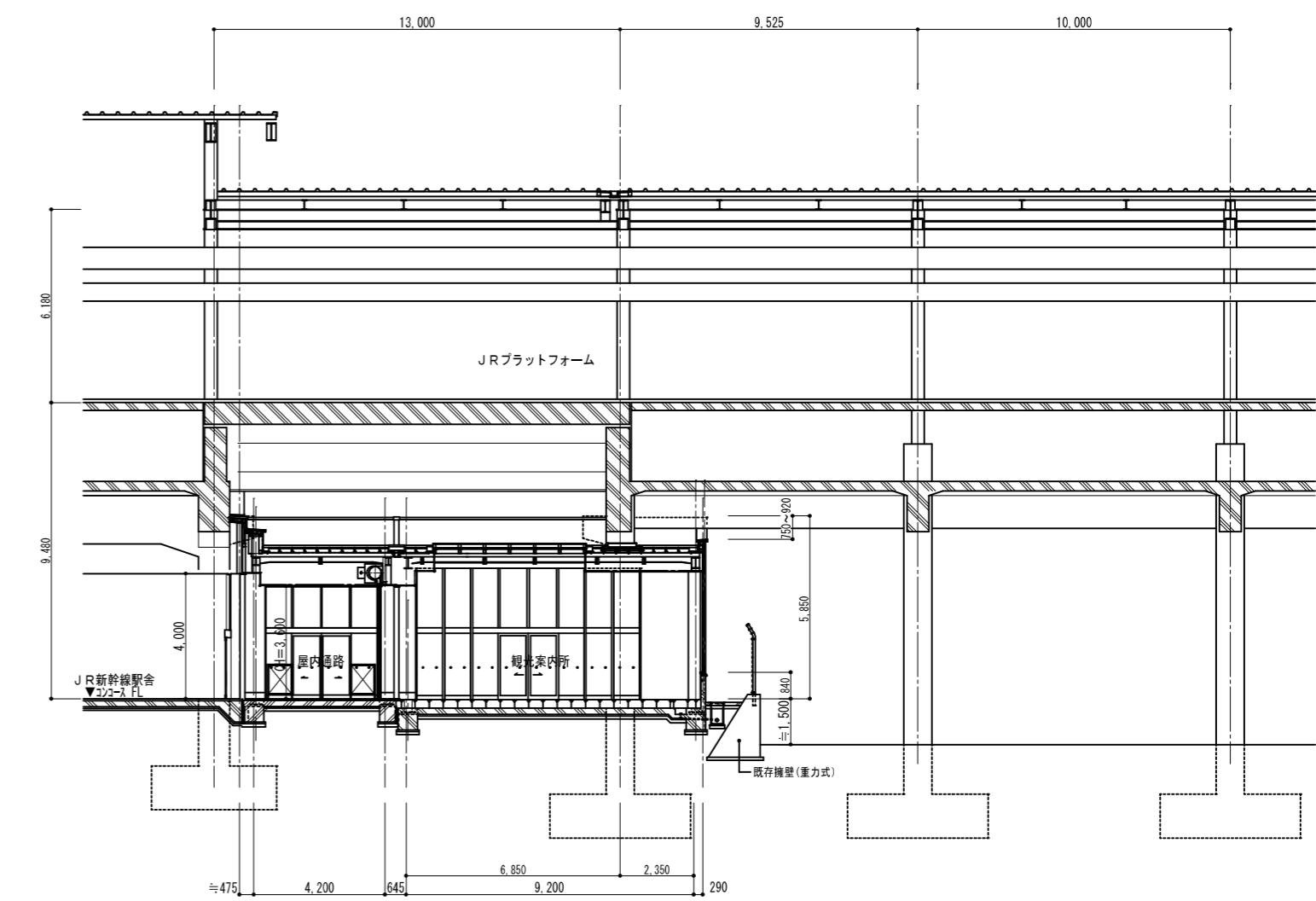


西側 立面図 1/100

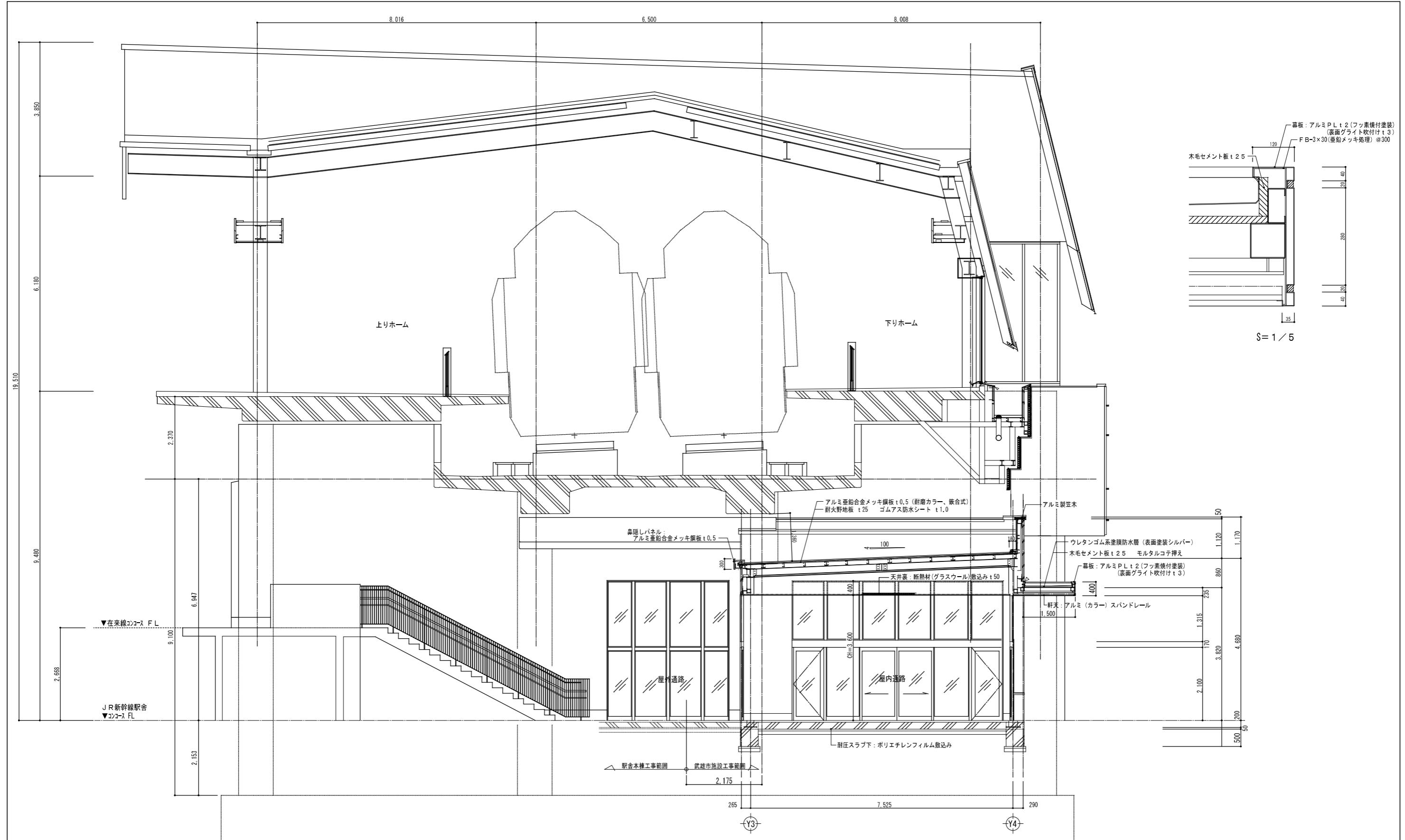
外 部 仕 上 げ	(①) (根回り) コンクリート打放 (②) (外壁) ECP t 60 (タテ張り) (FP060NE-9035) DP (別途工事) (③) (バラベット部裏面) 耐火野地板 t 18 ゴムアス防水シート t 1.0 アルミ亜鉛合金メッキ鋼板 t 0.4 (耐磨カラー) (FP030RF-1764) (④) (屋根) 耐火野地板 t 25 ゴムアス防水シート t 1.0 アルミ亜鉛合金メッキ鋼板 t 0.5 (耐磨カラー) (嵌合式瓦棒) (FP030RF-1772) (⑤) (屋根) トップライト (網入りガラス t 6.8)	(⑥) (庇幕板) アルミPL t 2 (フッ素焼付塗装) (⑦) EXP. Jカバー (外壁用: アルミ製、耐火仕様) (⑧) (笠木) ステンレス(SUS304)t1.0 + アルミ製笠木 (⑨) (ケラバ・鼻先) アルミ亜鉛合金メッキ耐磨カラー鋼板 t 0.5 (⑩) (外水切り) ステンレス(SUS304) t 1.0 (出隅役物共)	(⑪) (堅縫) ステンレス(SUS304) 60A 捶み金物: ステンレス(SUS304) (⑫) (堅縫) カラー塩ビパイプ 75A 捶み金物: ステンレス(SUS304) (⑬) 点検用タラップ (安全ガード付き) SUS304 (⑭) (AC室外機架台基礎) コンクリートコテ押え	(○)
-----------------------	---	--	---	-----



屋内通路部 断面図 1/100



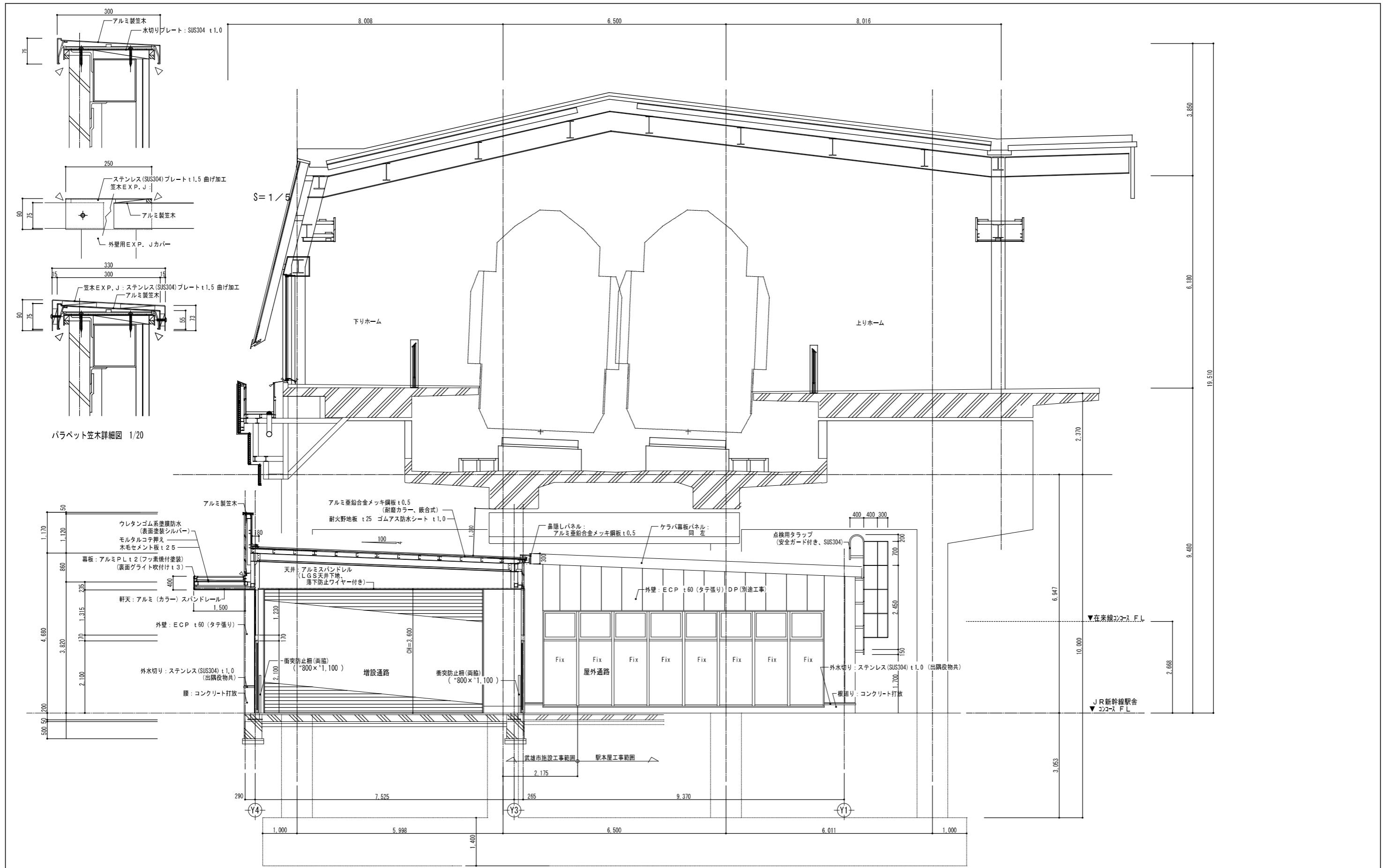
屋内通路部・武雄市施設部 断面図 1/100



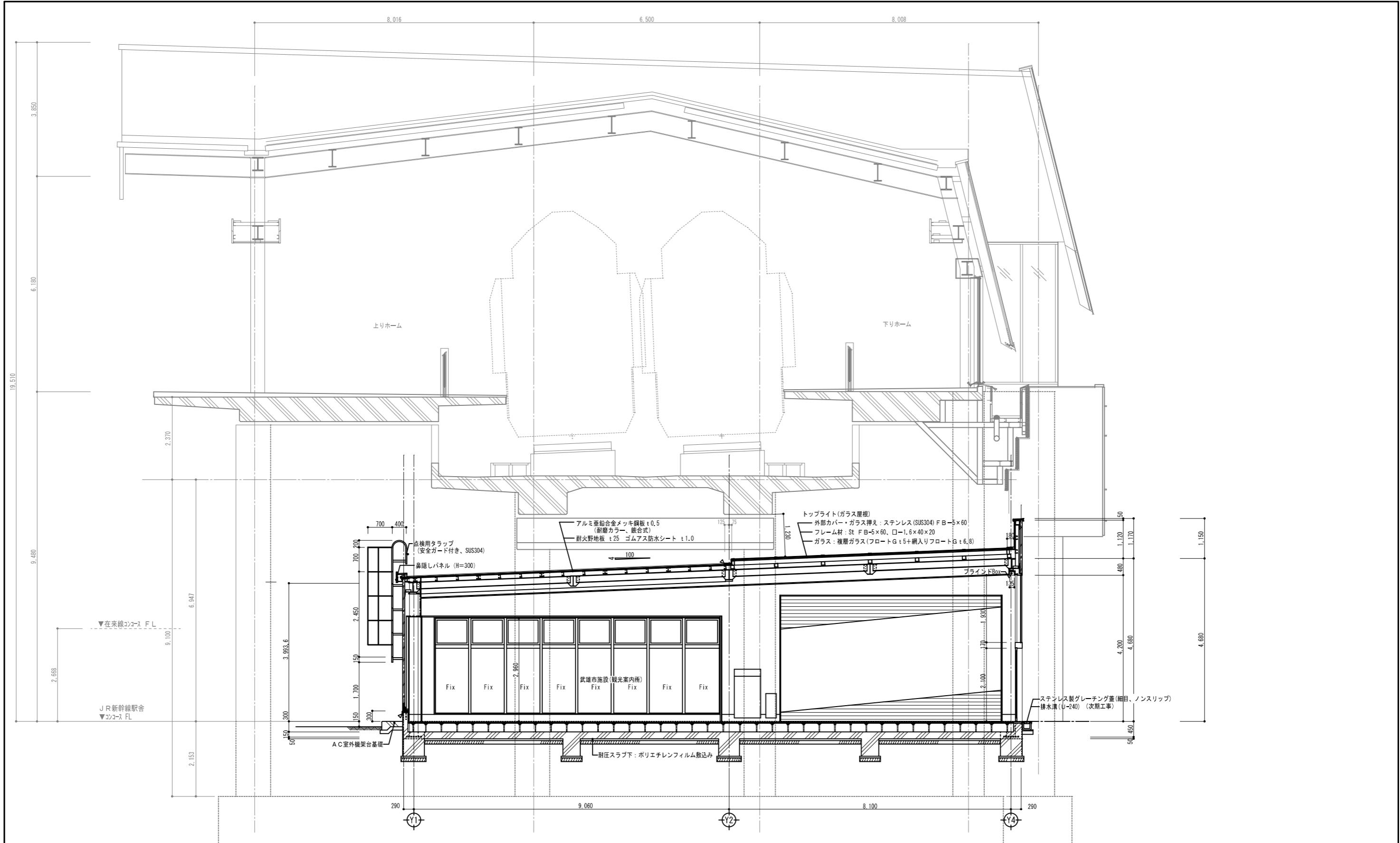
矩計図 1 1/50

◀・・・ シーリング(MS-2)

記 事			有限 会社 富永設計 1級建築士事務所 佐賀県知事登録 第一-884号 管理建築士 富永恭治 1級建築士 建設大臣登録 第93408号 TOMINAGA	設計番号	工事名称	設計年月日	図面番号	
					武雄市観光交流センター建設(第1期)工事			
				技印	図面名称			
					矩計図1		A/13 縮尺 1/50(A-1版) 1/100(A-3版)	

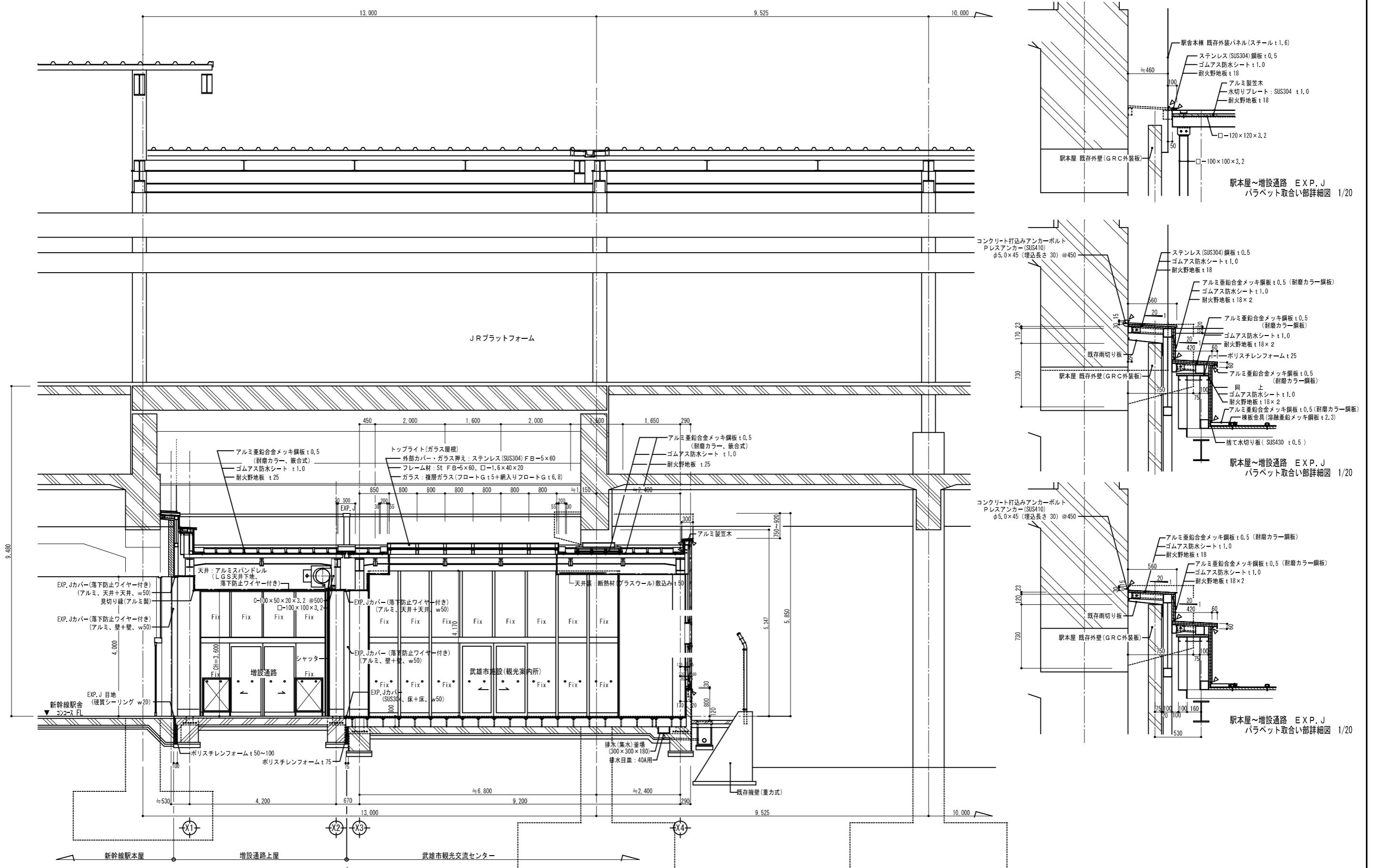


記 事	有限会社 富永設計 TOMINAGA	設計番号	工事名称 武雄市観光交流センター建設(第1期)工事	設計年月日	図面番号
					A / 14



矩計図 3 1/50

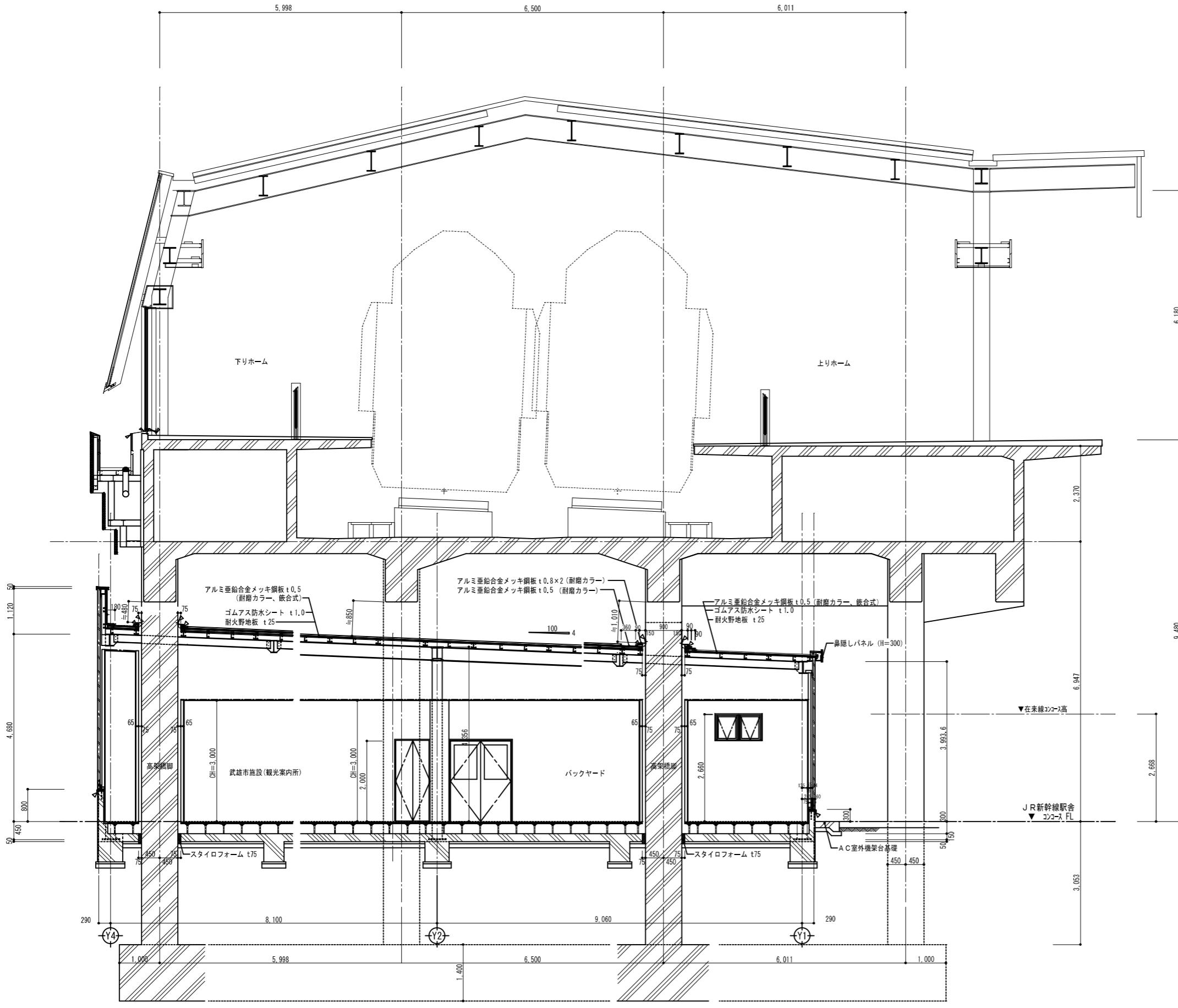
記 事	 TOMINAGA 有限 会社 富永設計 <small>1級建築士事務所 佐賀県知事登録 第1-884号 管理建築士 富永恭治 1級建築士 建設大臣登録 第93408号</small>	設計番号	工事名称	設計年月日	図面番号
			武雄市観光交流センター建設(第1期)工事		
		接印	図面名称	矩計図3	縮尺 1/50(A-1版) 1/100(A-3版)
					A/15



矩計図 4 1/50

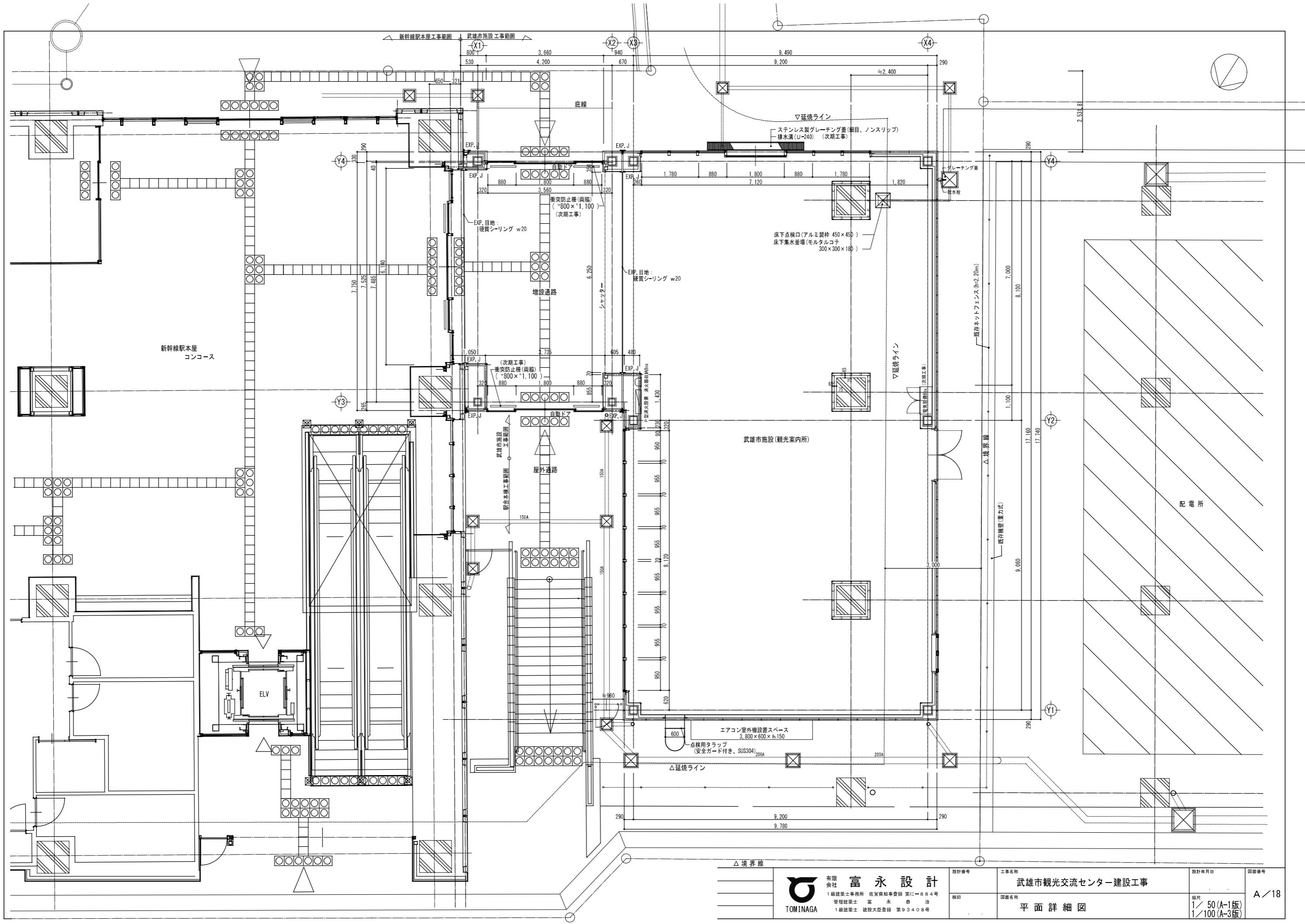
△・△・△ シーリング (MS-2)

記 事	有限 会社 富永設計 TOMINAGA	設計番号 工事名称 新幹線武雄温泉駅隣接高架下施設建設工事	設計年月日	図面番号
				A/16

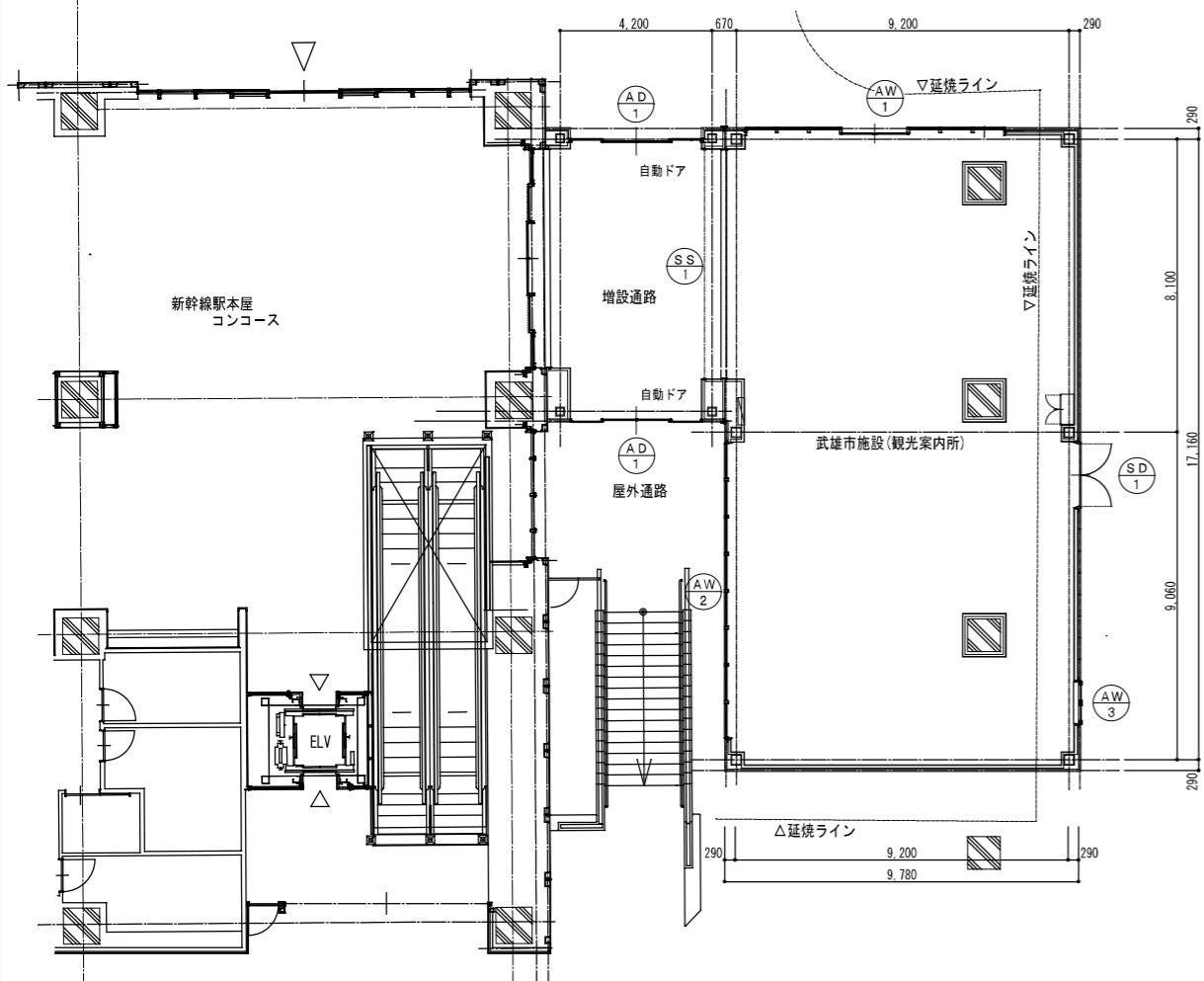


矩計図 5 1/50

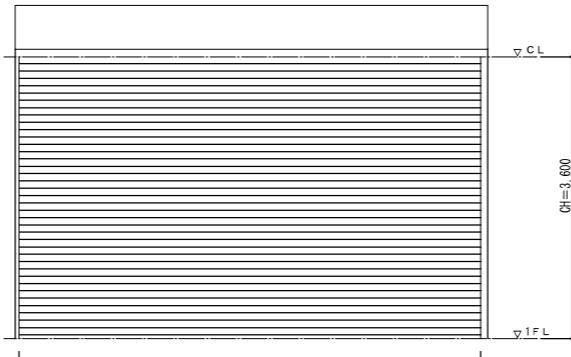
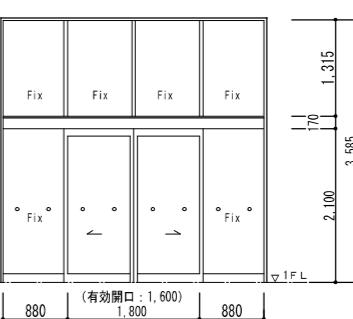
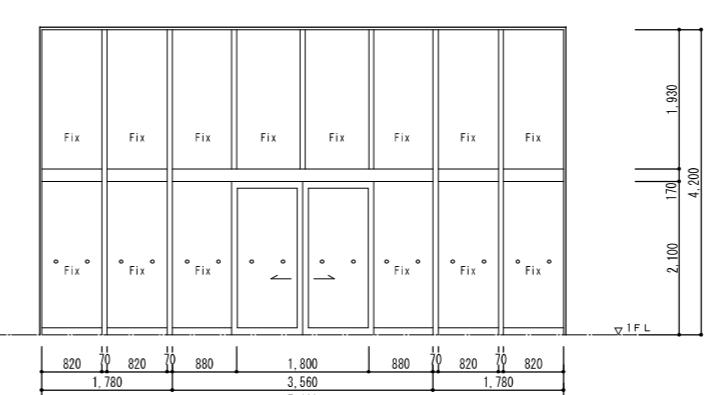
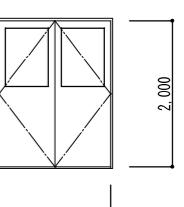
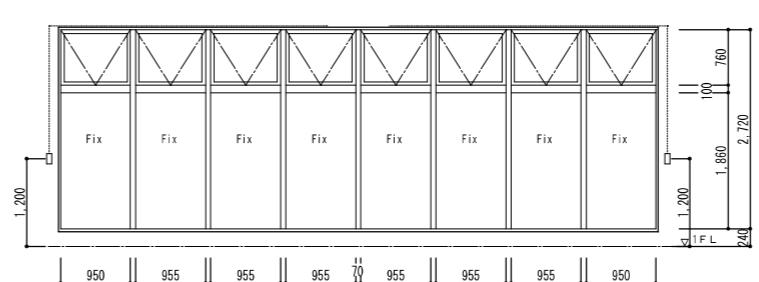
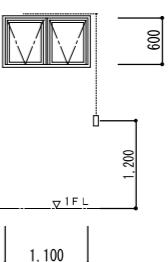
記 事		 <p>有 限 会 社</p> <p>富 永 設 計</p> <p>1級建築士事務所 佐賀県知事登録 第1-884号 管理建築士 富永恭治 1級建築士 建設大臣登録 第93408号</p> <p>TOMINAGA</p>	設計番号	工事名称	設計年月	図面番号
				新幹線武雄温泉駅隣接高架下施設建設工事		
			株印	図面名称	縮尺	
				矩計図5	1/50(A-1版) 1/100(A-3版)	A/17



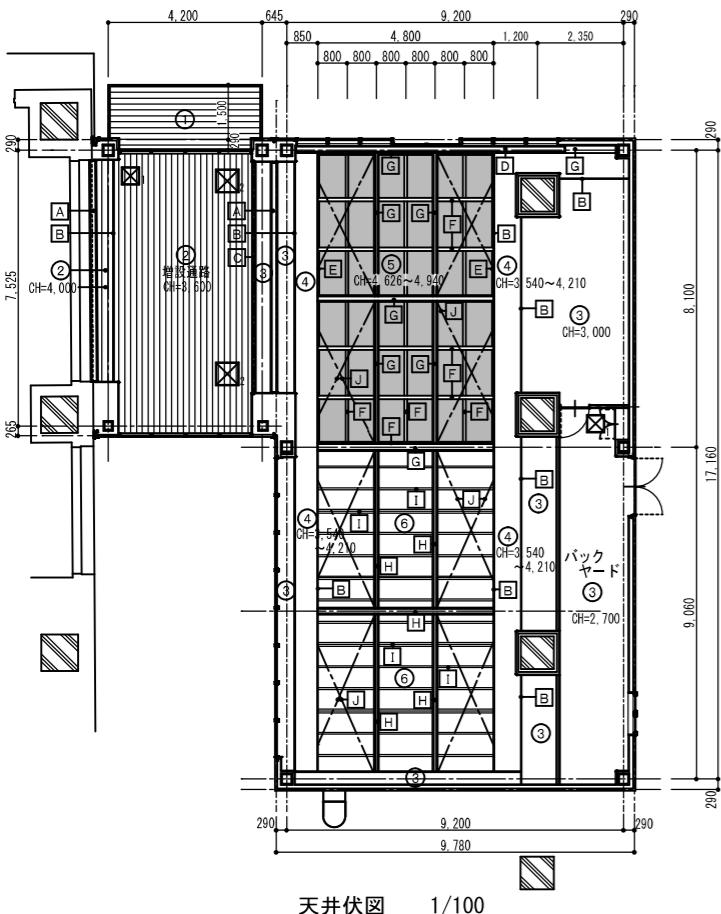
建 具 表 1/50



建具配置図 1/10

新幹線武雄温泉駅増設通路上屋工事	符号・位置・数量	(SS) 1	増設通路 1ヶ所	(AD) 1	増設通路 2ヶ所
	形寸 状 法				
	材質・仕上	ステール製重量シャッター(電動式) スラット: 油脂垂鉛メッキ鋼板 t1.6 メラミン樹脂化付塗装	アルミ(電解着色仕上)		
	見込	100	100		
	ガラス	— 上部: 合わせガラス(フロート t5+t5)、下部: フロートガラス t8+飛散防止フィルム(内部面) 自動ドア: フロート強化ガラス t5+飛散防止フィルム(内部面)			
武雄市観光交流センター建設工事	金 物	電動機(単相 100V 0.40kW相当) 障害物感知装置(光電センサー) 付属金物 1式	引分け自動ドア: エンジン装置1式、引手、ガイドレール、無段取付赤外線センサー、補助光電センサー、本体リピート、付属金物 1式		
	備 考	天井内蔵ベビーボックス型(外巻き) ステンレス座板	内部: アルミ絞継 ガラス衝突防止シール(ステンレス、両面)		
	符号・位置・数量	(AW) 1	観光案内所 1ヶ所	(SD) 1	観光案内所 1ヶ所
	形寸 状 法				
	材質・仕上	アルミ(電解着色仕上)	ステール S.O.P		
武雄市観光交流センター建設工事	見込		枠: 120 戸: 36		
	ガラス	上部: 合わせガラス(フロート t5+t5)、下部: フロートガラス t8+飛散防止フィルム(内部面) 開引きドア: フロート強化ガラス t5+飛散防止フィルム(内部面)	網入り型ガラス t6.8		
	金 物	付属金物 1式	ステンレス丁番 シリンダー錠(サムターン付) レバーハンドル、D.C.、フランス落し、他金物 1式一式		
	備 考	内部: アルミ絞継 ガラス衝突防止シール(ステンレス、両面)	下枠: ステンレス		
	符号・位置・数量	(AW) 2	観光案内所 1ヶ所	(AW) 3	観光案内所 1ヶ所
武雄市観光交流センター建設工事	形寸 状 法				
	材質・仕上	アルミ(電解着色仕上)	アルミ(電解着色仕上)		
	見込	70	70		
	ガラス	上部・下部: 合わせガラス(フロート t5+t5)	網入り型ガラス t6.8		
	金 物	オペレーター式排煙窓装置 1式 付属金物 1式	オペレーター式排煙窓装置 1式 付属金物 1式		
武雄市観光交流センター建設工事	備 考	内部: アルミ絞継	内部: アルミ絞継 網戸		

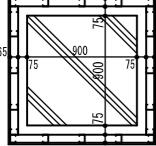
※ ガラス飛散防止フィルム(内部面)及び衝突防止シールは本工事に含みませ



天井伏図 1/100

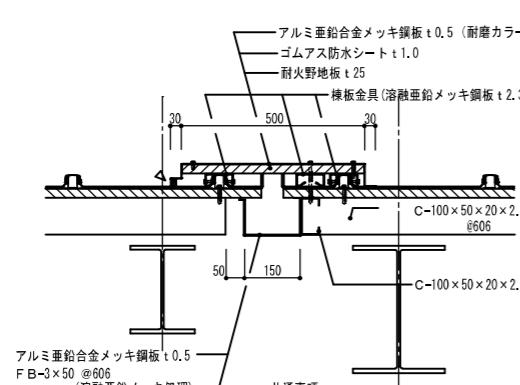
天井仕上リスト

符 号	仕 上 ・ 仕 様	符 号	仕 上 ・ 仕 様
①	アルミ(カラー)スパンドレール t 1.0 (LGS下地)	A	EXP.Jカバー(アルミ、天井+天井、w50) (落下防止ワイヤー付き)
②	アルミ(カラー)スパンドレール t 1.0 (LGS下地)	B	見切縁・アルミ製
③	GB t 9.5 (LGS下地)	C	重量シャッター
④	GB t 9.5 CH=3,540~4,210 (LGS下地)	D	ブラインド・カーテンボックス: シナ合板F型 SOP塗装
⑤	トップライト(ガラス屋根) ガラス:複層ガラス(網入りトーメイ G t 6.8) フレーム材:アルミ亜鉛合金メッキ鋼板 t 0.6 (参照:詳細図)	E	トップライト(ガラス屋根) 取合面切り:アルミ亜鉛合金メッキ鋼板 t 0.6 F 鉄部(□-100×100×3.2): SOP塗装 F 鉄部(□-125×75×3.2): SOP塗装
⑥	耐火野地板 t 25露出 SOP塗装	G	鉄部(H形鋼): SOP塗装
○		H	鉄部(H形鋼): 耐火塗料塗装
□1	天井点検口(栓:アルミ製 450×450、 天井同材仕上)	I	鉄部(リップ溝鋼): SOP塗装
□2	天井点検口(栓:アルミ製 600×600、 天井同材仕上)	J	鉄部(M16、プレース部材): SOP塗装

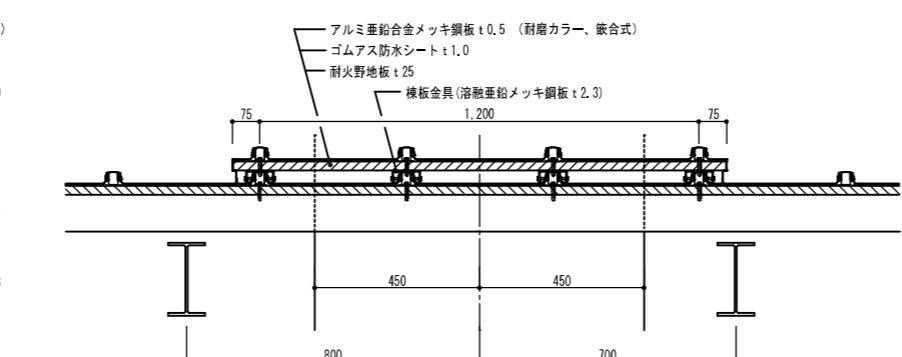


高架橋脚(RC柱)廻り詳細

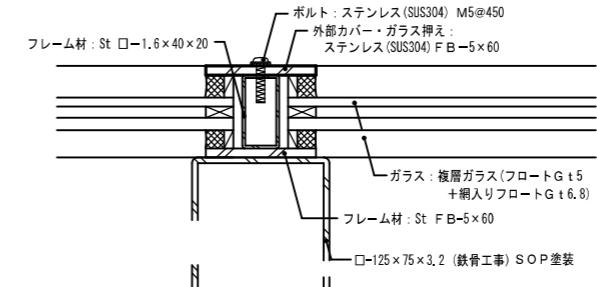
1/30



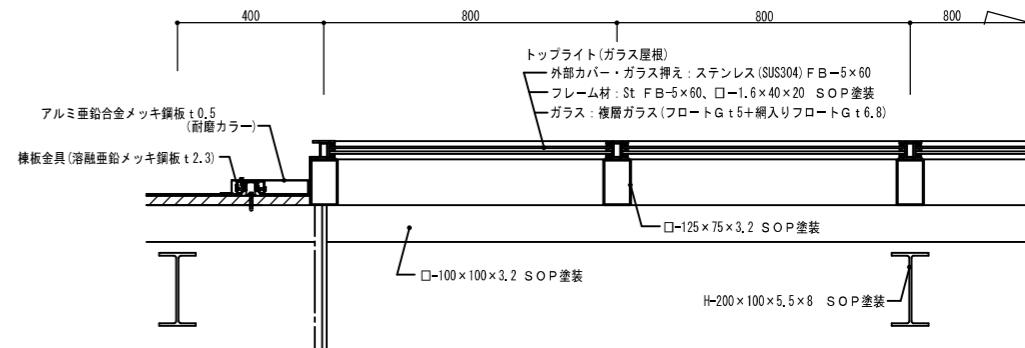
G 屋根 E X P. J 部 詳細 1/10



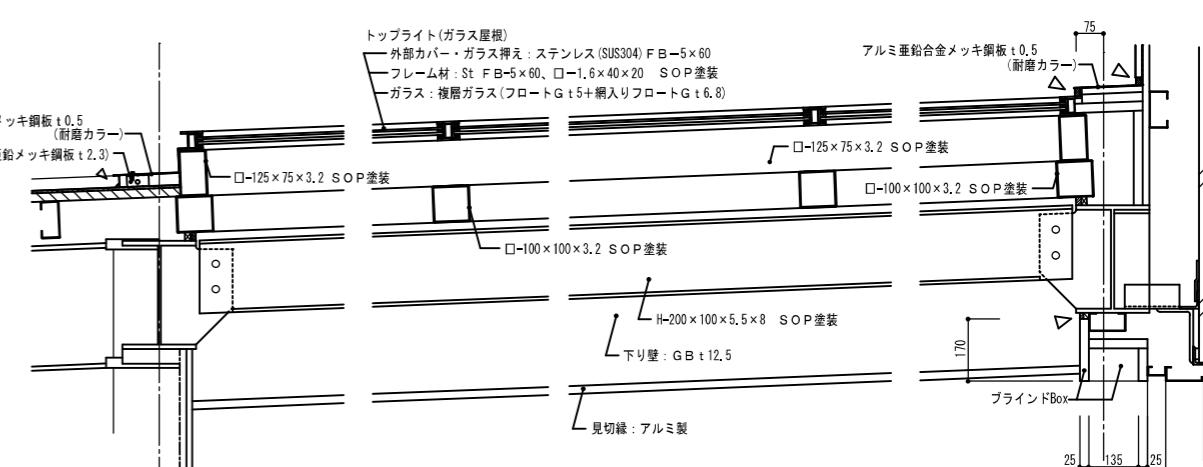
② 屋根部 詳細 1/10



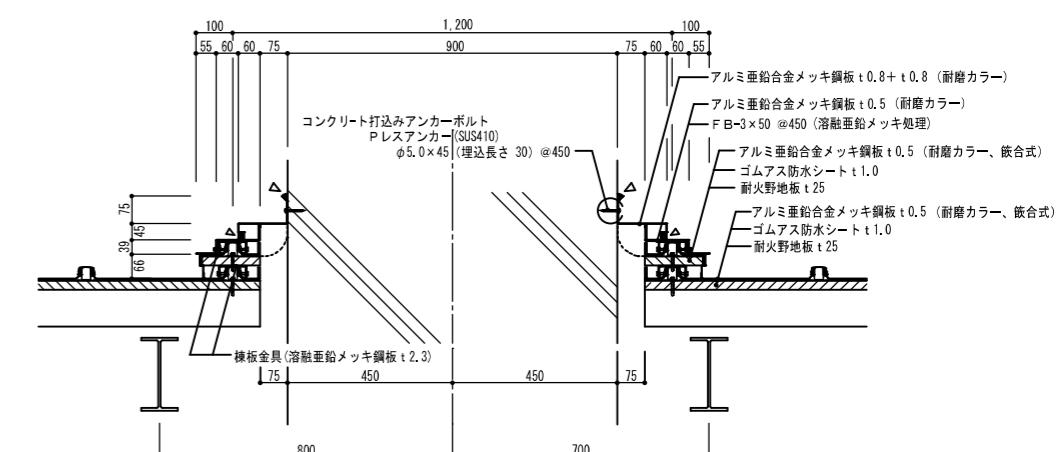
屋根トップライト 部分詳細 1/2



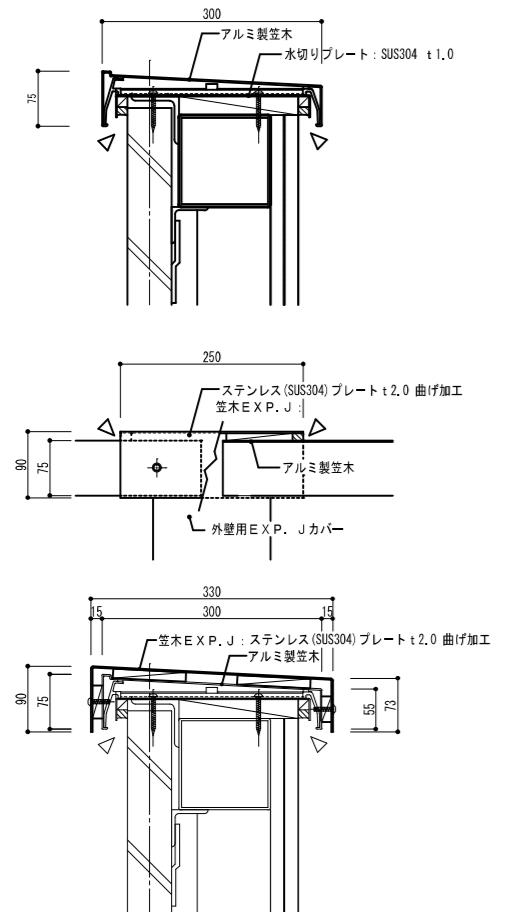
屋根トップライト(ガラス屋根)部 詳細 1/10



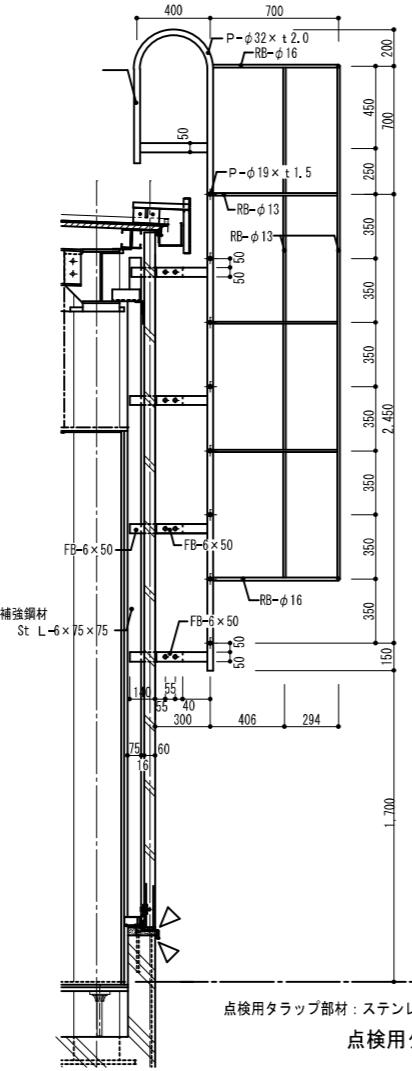
屋根トップライト(ガラス屋根)部 詳細 1/10



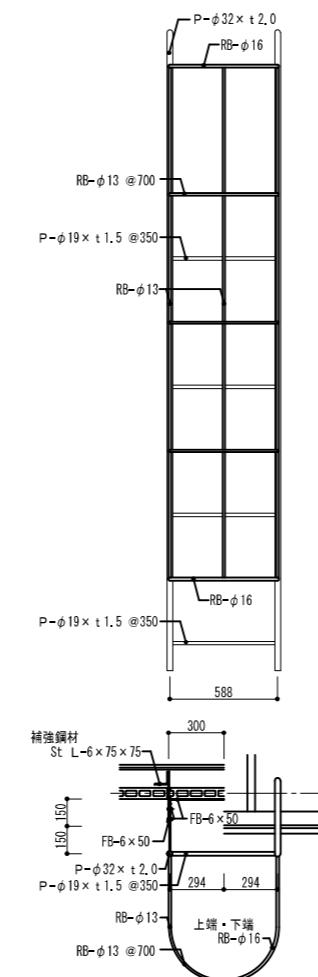
H 屋根 高架橋脚(RC柱)廻り 詳細 1/10



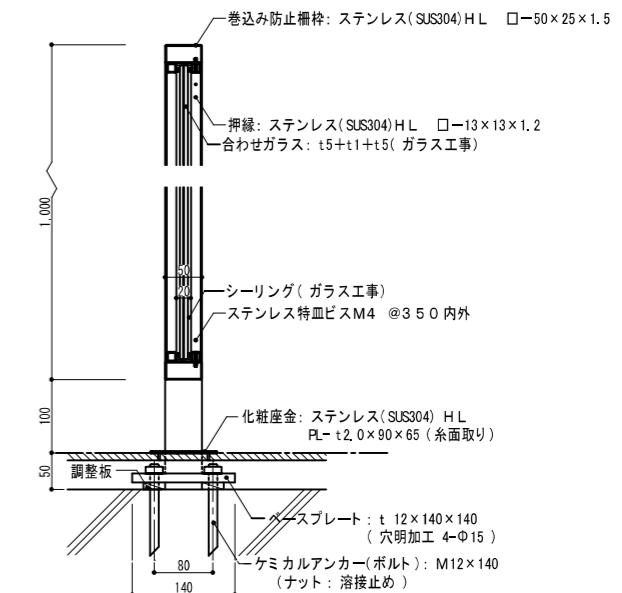
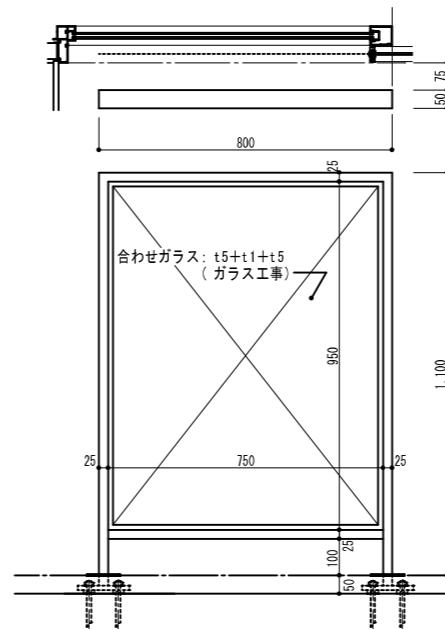
パラベット笠木詳細図 1/5



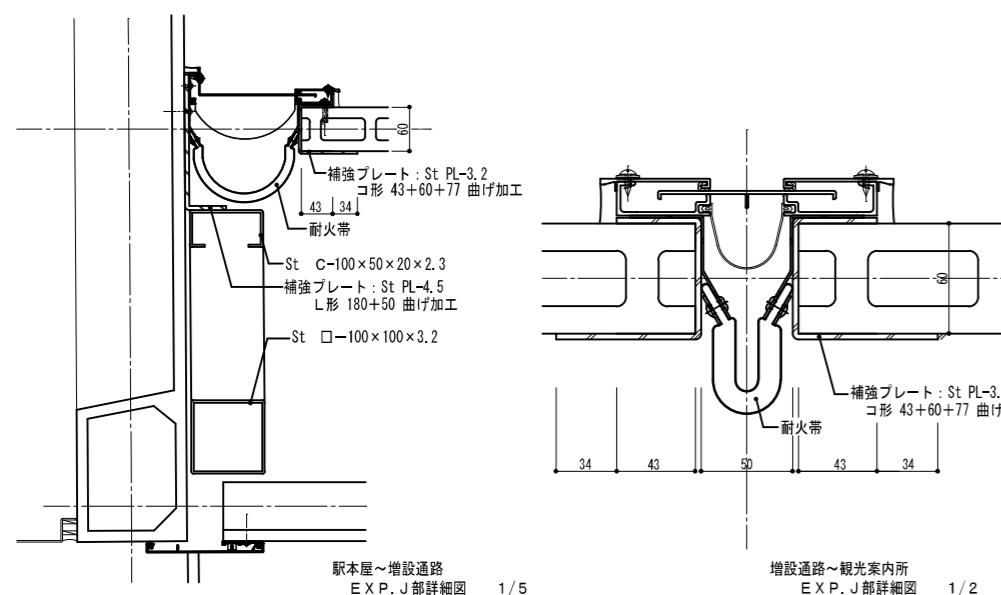
点検用タラップ詳細図 1/20



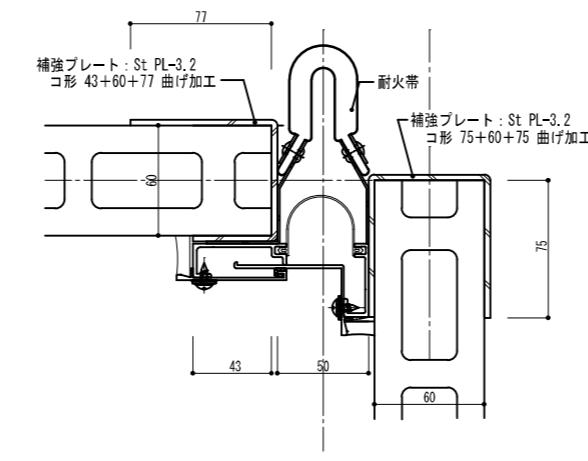
巻込み防止柵詳細図 1/10
(次期工事)



巻込み防止柵詳細図 1/5
(次期工事)



駅本屋～増設通路
EXP. J部詳細図 1/5



増設通路～観光案内所
EXP. J部詳細図 1/2

※ EXP. Jカバー取付部の補強プレートは全長通とする。

記 事	